

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

<2週> 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっている / その他最新動向  
<12月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症  
P.7

<インフルエンザ> 第2週のインフルエンザ患者報告総数は1,868



病原体情報  
P.8

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報  
P.9-10

2000年度感染症発生動向調査におけるRhinovirusの検出 - 横浜市 / 広島市で発生した *Salmonella* Schwarzengrundによる集団食中毒事例



海外感染症情報  
P.11-12

オーストラリアでロスリバーウイルス感染症の流行 / ポリオの根絶の認定 - 西太平洋地域、2000年10月 / 他



感染症の話  
P.13-15

プレジオモナス・シゲロイデス感染症  
病原体は淡水域の常在菌で、わが国では熱帯および亜熱帯地域の開発途上国への渡航者からの分離が多い



読者のコーナー  
P.16-17

インフルエンザ  
警報・注意報



グラフ総覧(2週)  
P.18-24



グラフ総覧(12月)  
P.25-29



12月のデータ  
P.30-33



2週のデータ  
P.34-41



# 発生動向総覧

第2週コメント 1月19日集計分

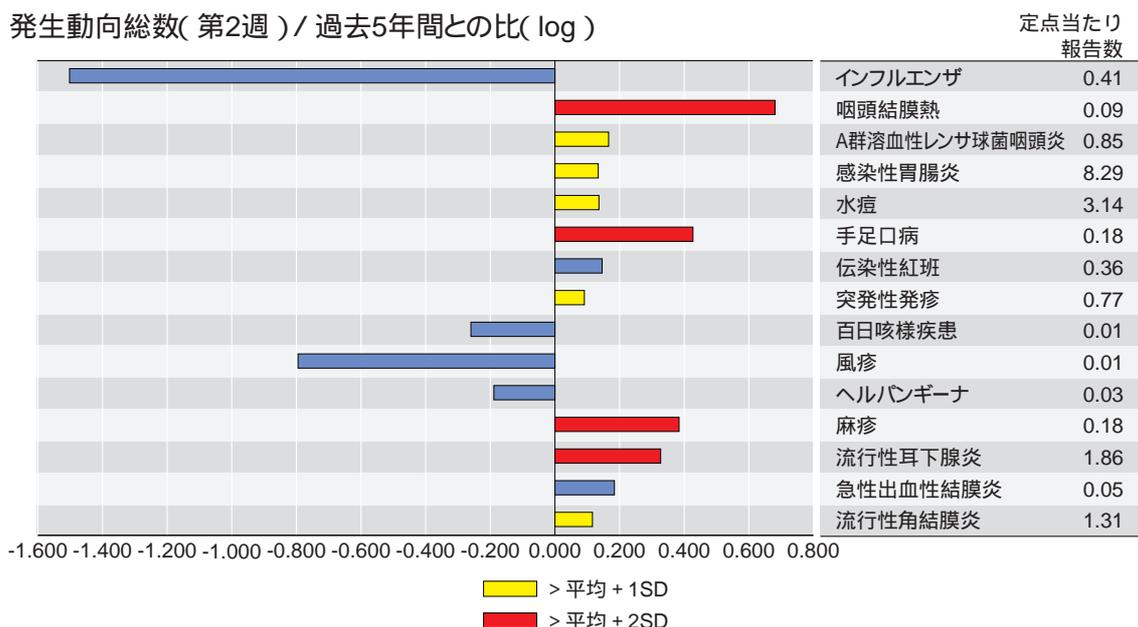
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: 国内)、細菌性赤痢16例(推定感染地: 国内7例、タイ4例、インドネシア2例、ペルー、ベトナム、エジプト各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症10例
- 4類感染症: アメーバ赤痢6例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)、劇症型レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病6例、破傷風1例、レジオネラ症2例  
急性ウイルス性肝炎3例 A型1例  
B型2例\_\_感染経路: 不明2例  
後天性免疫不全症候群6例(無症候性キャリア6例)  
感染経路\_\_性行為感染6例(同性間5例、異性間1例)  
梅毒3例(無症候3例)、デング熱1例(推定感染地: インドネシア)、マラリア1例(三日熱マラリア1例\_\_推定感染地: ニジェール)

## 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっており、熊本県で定点当たり4.4の報告がある。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(18ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。麻疹は例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県、大分県、福岡県、奈良県などで多くなっている。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.41となっている。

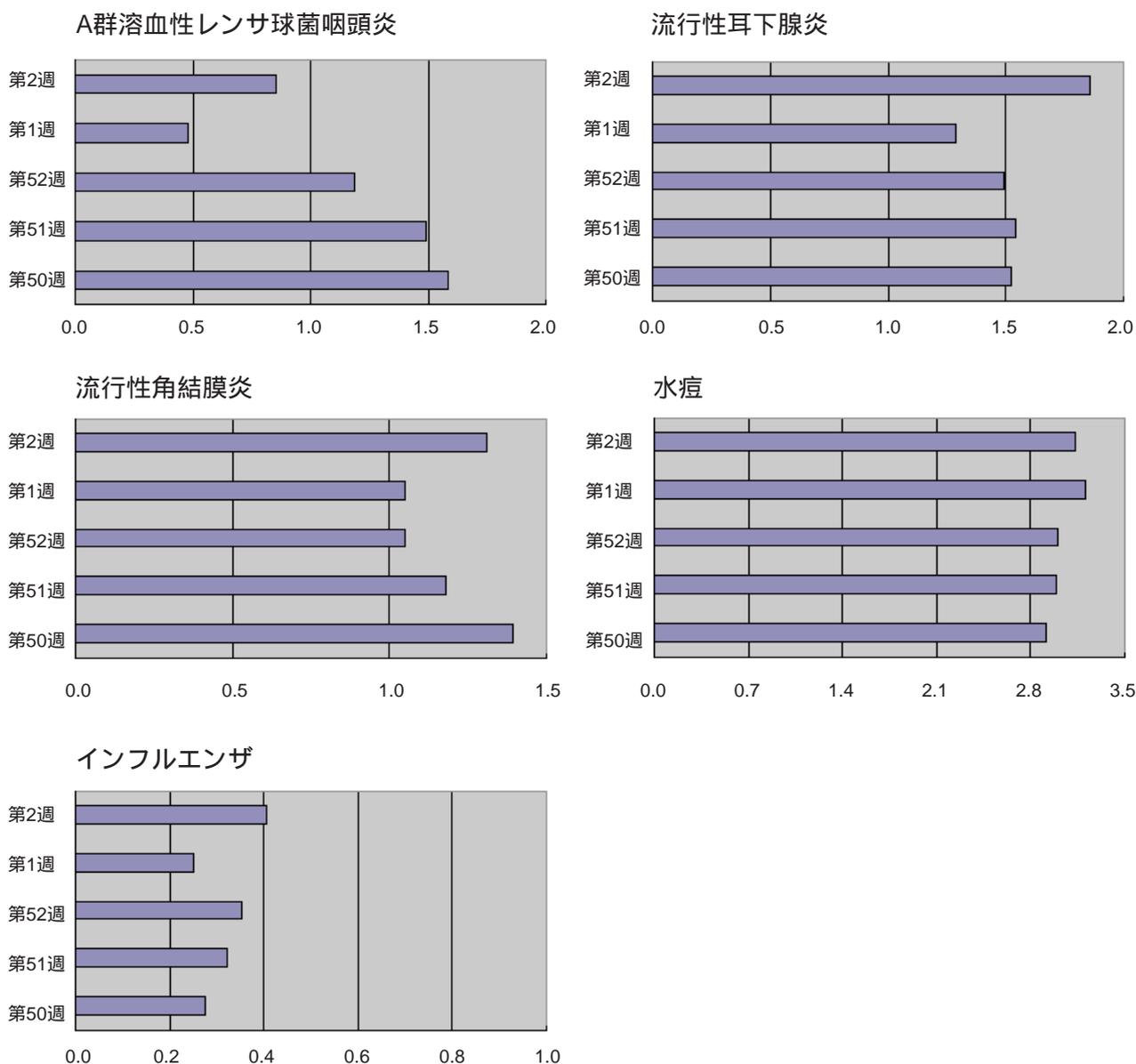
発生動向総数(第2週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

## 最近の注目疾患-5週間の動き

流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数が増加した。第2週の定点当たり報告数としては過去10年間で最高となっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の両疾患とも前週より定点当たり報告数が増加した。水痘の定点当たり報告数は前週とほぼ変わらない。インフルエンザは依然活動性が低いが、前週より定点当たり報告数わずかに増加し、全体として緩やかな増加傾向にある。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

## 12月コメント

### 性感染症について (1月10日集計分)

12月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.12(男1.32、女1.79)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.80(男0.34、女0.46)、尖形コンジロームが0.35(男0.19、女0.17)、淋菌感染症が1.54(男1.28、女0.26)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。冬期に向けて、性器クラミジア感染症および尖形コンジロームは減少し、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症は横ばいであった(25～28ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からも一定の割合で報告されている。全体の男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.36、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.35、尖形コンジローム(図1c)で1:0.89、淋菌感染症(図1d)で1:0.20であったが、いずれの疾病でも若年齢層ほど女性の報告数が多い傾向が認められた。(12月の性感染症定点総数は881)

淋菌感染症について、感染症新法が施行された1999年4月以降の月別定点当たり患者報告数の動向を年齢階級別に示した(図2)。夏に増加し、冬に減少する特徴が特に男性で明らかである。報告数が多い年齢階級は、男性では20代、次いで30代、15～19歳の順であるが(図2a)、女性では20～24歳が特に多く、さらに25～29歳と15～19歳が続いている(図2b)。この夏の女性の20～24歳における増加傾向を含め、上記の特徴は本週報2000年第50週4～5ページで解説した性器クラミジア感染症と同様である。今後の若年齢層の女性での性感染症の発生動向が注目される。

【注】各性感染症の月別定点当たり報告数グラフの1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

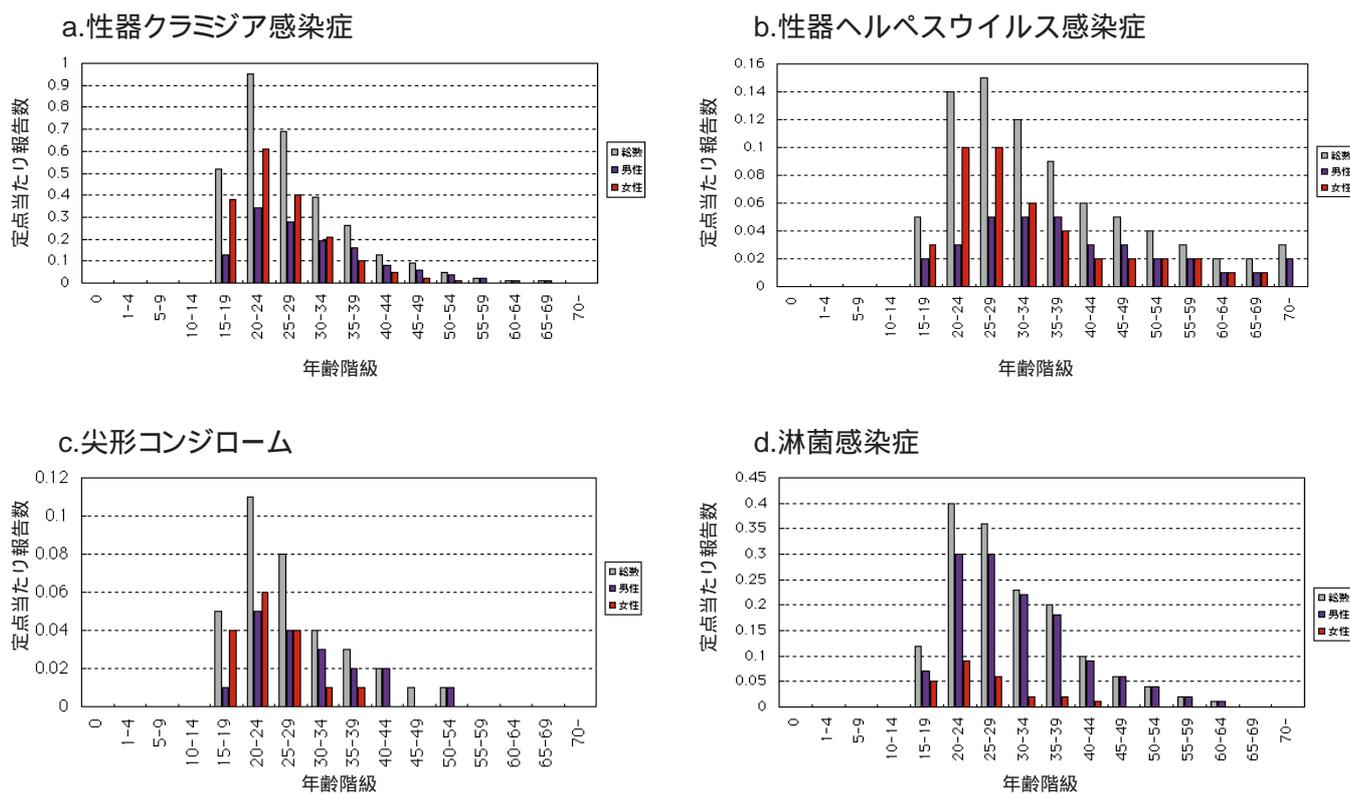


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

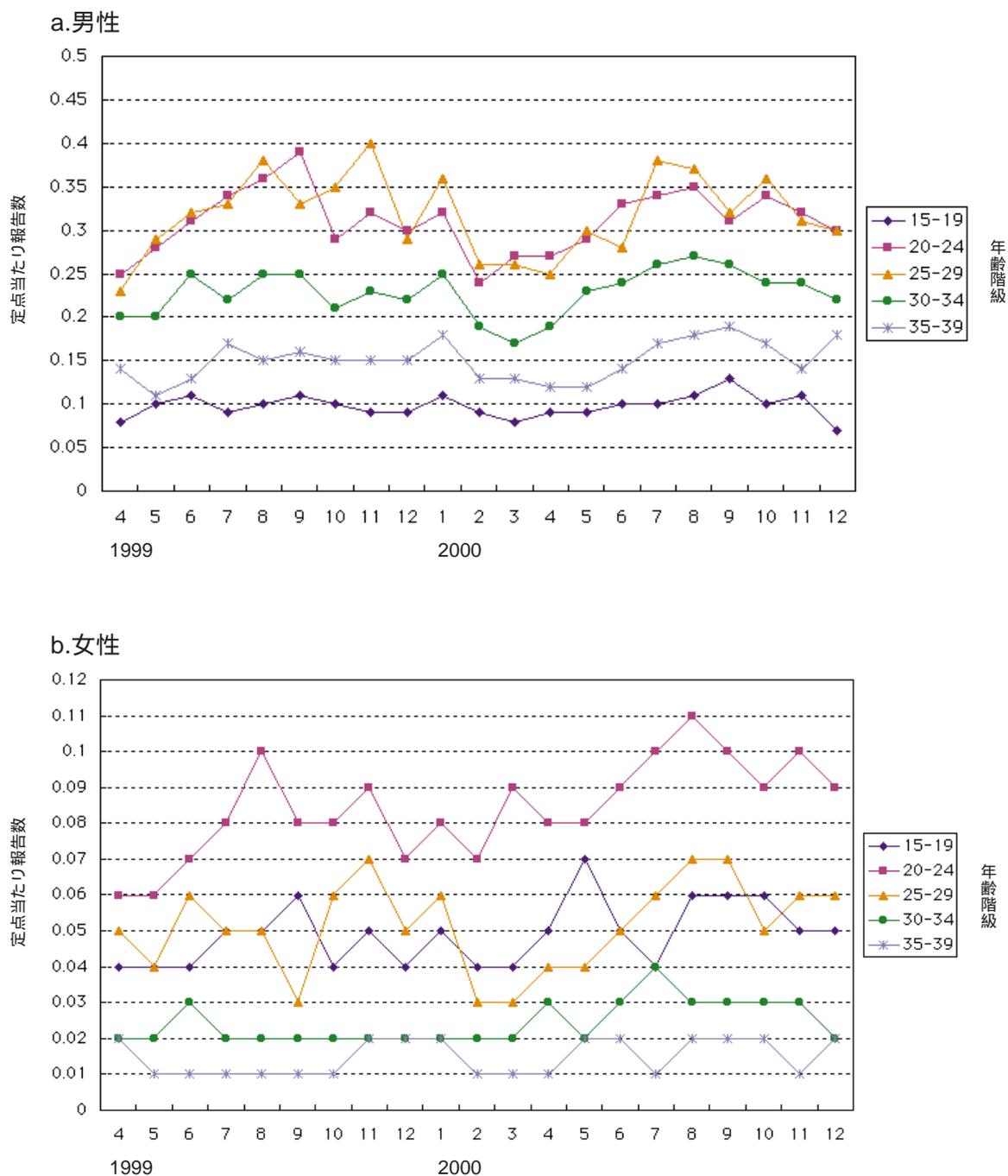


図2. 淋菌感染症の年齢階級・月別定点当たり報告数

## 薬剤耐性菌について (1月10日集計分)

【注】 )内の+、-、= は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

12月の基幹定点総数: 437 .

12月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症 3.1( = )

ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症 0.99( + )

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.09( = )

年齢階級別: MRSA感染症 …………… 報告数の約半数は70歳以上の高齢者であり、0歳と65～69歳にも多い。

PRSP感染症 …………… 1-4歳が最も多く、全体の47%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 …… 高齢者に多く見られ、全体の44.7%が70歳以上であった。

## 結核サーベイランス月報 (1月17日集計分)

12月の新登録患者数は3,167人、活動性肺結核患者は2,610人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,004人) 非定型抗酸菌陽性者数は262人であった。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告( <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm> )をご覧ください。



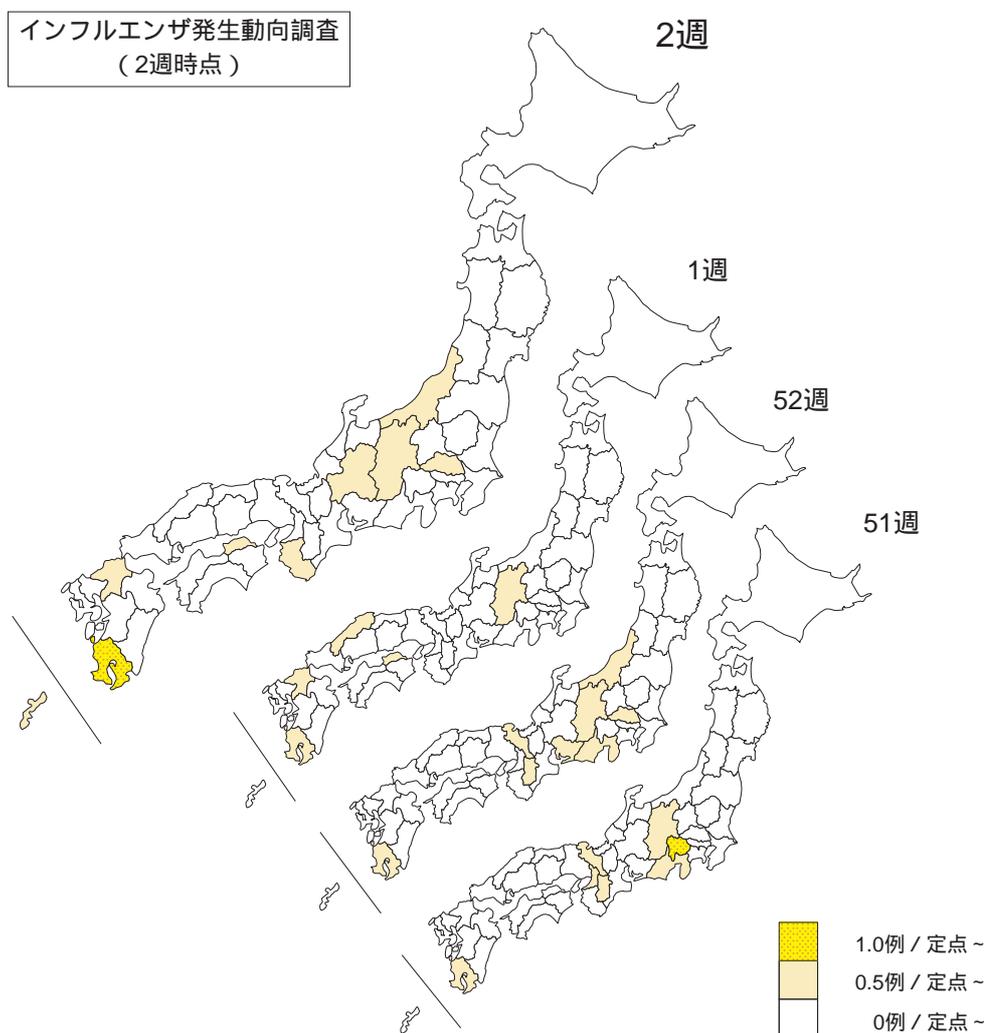
# 注目すべき感染症

## インフルエンザ流行状況

2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は、現在のところ流行開始の指標と考えられる閾値( 定点当たり報告数1.0 )に達しておらず、インフルエンザ流行の活動性は低い。2001年第2週のインフルエンザ患者報告総数は1,868で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数( 定点当たり報告数 )は0.41であった( 都道府県別患者発生状況については下図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては8ページ病原体情報参照 )。

厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年1月13日までの累計で660人であり、昨年同期の11,055人に比べ10分の1以下となっている。

今週はインフルエンザ流行の警報・注意報が発生している都道府県はない( 警報・注意報についての詳細は16ページ「読者のコーナー」を参照 )。





# 病原体情報

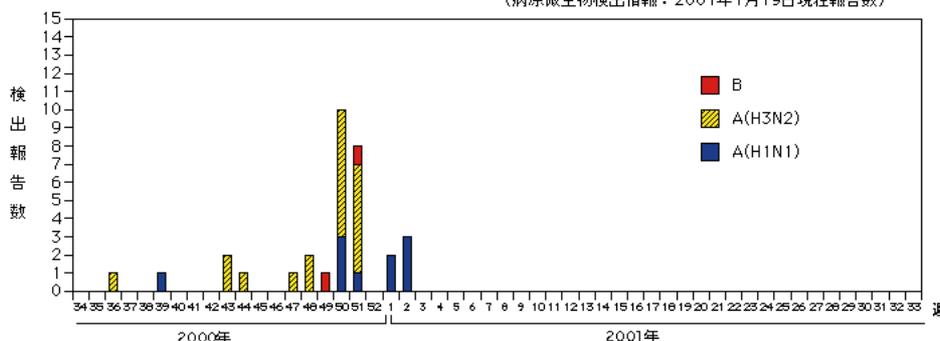
(2001年1月19日現在報告分)

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルス(\*はPCRによる検出)は、A/香港(H3N2)型が20件で、広島県1件(第36週)、愛知県\*3件(第43、44週)、神戸市(第47週)、埼玉県(第48週)、大阪府(第50週)、横浜市(第51週)各1件、新潟県10件(第48、50、51週)、鹿児島県2件(第51週)、A/ソ連(H1N1)型が10件で、うち横浜市\*1件(第39週)、新潟県3件(第50、51週)、静岡県(第50週)、仙台市(第2週)各1件、香川県(第1週)、兵庫県(第2週)各2件、B型が静岡県(第49週)、長崎県(第51週)各1件報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン  
(病原微生物検出情報: 2001年1月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

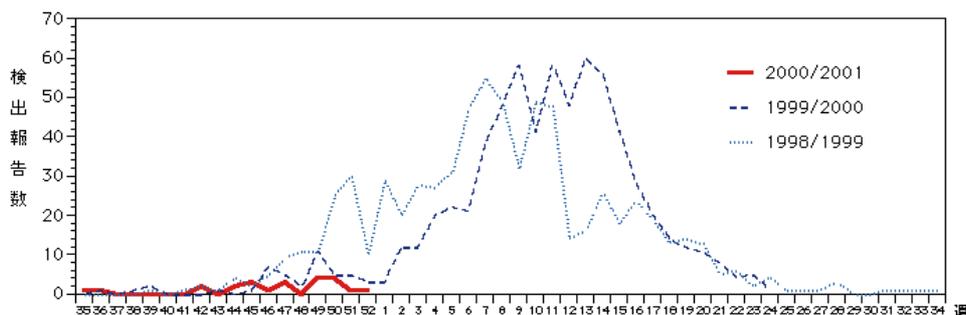


Infectious Agents Surveillance Report

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は23件で、岩手県、香川県各4件、新潟県、大阪市各3件、東京都、大阪府各2件など。またSRSVの検出は176件で、岩手県32件、新潟県29件、山形県27件、北九州市20件、大阪市18件の順で報告が多く、このうち2001年に入ってから検出は新潟県から3件報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年1月19日現在報告数)

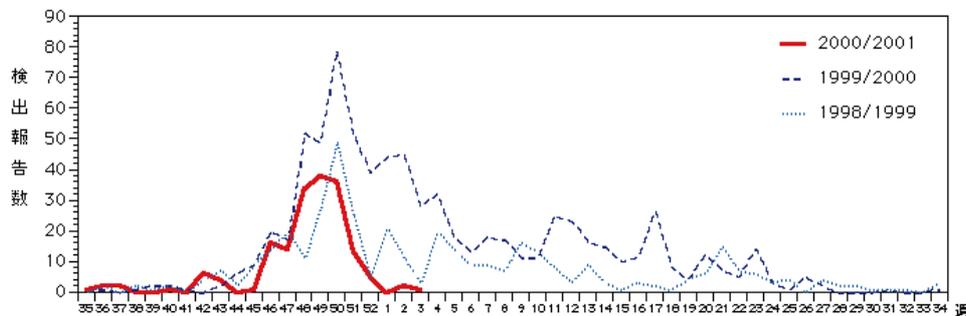


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)  
(病原微生物検出情報: 2001年1月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 2000年度感染症発生動向調査におけるRhinovirusの検出 - 横浜市

感染症発生動向調査において本年度から、通常のウイルス分離検出に加えてrhinovirus-enterovirus検出用PCR法を導入したところ、16件のrhinovirus遺伝子を検出することができたので報告する。

市内6カ所の小児科内科病原体定点から、2000年4月4日～12月26日までの間に咽頭ぬぐい液573件、うがい液1件、糞便8件の合計582件の検体が搬入された。検体は継代細胞-乳飲みマウスによる分離のためにそれぞれ通常の方法で処理されるが、その一部を遺伝子検出に供した。検体よりウイルスRNAを抽出し、RT-nested-PCR法によって、5' UTR-VP4領域のDNAを増幅した。Rhinovirusはenterovirus と共通のプライマーで増幅することが可能であり、また5' UTR領域が約120bp短いため、その増幅されるバンドの大きさで区別できる。アガロースゲル電気泳動によりrhinovirusと思われるバンドが確認されたものは、ダイレクトシーケンス法を行い塩基配列を決定した。Rhinovirusであることの確認には、日本DNAデータバンク(DDBJ)のホームページを利用した。

その結果、16件のrhinovirus遺伝子を検出できた。Rhinovirusはすべて咽頭ぬぐい液から検出された。患者情報を以下にまとめる。月別の患者数は5月6人、6月5人、10月2人、11月3人であり、春季と秋季に流行するという従来の疫学と一致した。年齢は3カ月～31歳まで幅広く確認された。臨床診断は咽頭炎、気管支炎が多数を占めた。患者の体温は37.2～40.1(平均は38.4)であり、あまり高い発熱は認められなかった。Rhinovirus陽性検体から重複して検出されたウイルスはadenovirus、parainfluenza virus、poliovirus、RS virusであった。ウイルスが重複して検出されたこれらの患者は高い発熱を示す傾向にあった。

検出されたrhinovirus遺伝子はそれぞれ、rhino1B、2、16、89と高いホモロジーを示し、系統樹においてもrhinovirus群はenterovirusとは別のクラスターを形成した。しかし、ウイルスを分離することが出来ず、最終的な血清型までの同定には至らなかった。

Rhinovirus-enterovirus検出用PCRにより、検体搬入の翌朝にはウイルス遺伝子の有無が確認でき、その後の分離同定の際に指標として役立った。分離の困難なrhinovirusの検出には特に有効であり、分離陰性の検体から遺伝子を検出することができた。Rhinovirusは鼻腔粘膜が主要な感染経路であるため、鼻汁の採取が可能であればより多くの症例からウイルスを検出する事ができたとと思われる。

この研究の一部は平成12年度財団法人横浜総合医学振興財団 - 学術研究助成によって行った。

横浜市衛生研究所検査研究課

宗村徹也 七種美和子 川上千春 野口有三 藤井菊茂

(IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

## 広島市で発生した *Salmonella* Schwarzengrund による集団食中毒事例

2000年8月30日、市内の病院から食中毒患者の届け出が広島市保健所にあり、事件を探知した。聞き取り調査の結果、患者は8月26日夜に友人3人とA飲食店で喫食し、4人全員が食中毒症状を呈していた(グループA)。一方、同日、別の食中毒患者の届け出があり、調査の結果、8月27日昼に家族4人が同じA飲食店で喫食し、4人とも発症していることが判明した(グループB)。この2グループに共通の喫食施設は当該施設以外にはなく、細菌検査の結果、この2グループ、各2名の便からサルモネラが検出された。分離菌株の血清型は *Salmonella* Schwarzengrund であった。また、調査時に採取した食品のうち、患者発生後に調理された「ナスのネギトロ」1検体および調理従事者3名の便からも *S. Schwarzengrund* が分離されたことから、A飲食店を原因施設と断定し、営業停止の措置がとられた。その後、26日喫食の他の3グループ(グループC、D、E)7名、および従事者4名からも同血清型のサルモネラが検出された。これらの分離菌株は6薬剤に同様の感受性を示し、*Xba*Iおよび*Bln*IIによるパルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)解析によっても同様の泳動パターンを示した。このことから、26日および27日の患者のいずれも同一菌によって汚染された食品が原因となったものと推測されたが、発生当時の食品・食材が残っておらず、この菌による原因食品および汚染経路を、細菌検査から特定することはできなかった。しかし、(1)調理従事者11名中の7名が、同菌を健康保菌していたこと、(2)発生時以後に調製された「ナスのネギトロ」から同菌が検出されたこと、(3)調理施設のスワブから高率に *Citrobacter* が検出され、調理環境全般の不衛生さが認められたこと、(4)施設においてネズミなどは確認されておらず、これらからの汚染は考えにくいことなどを総合すると、調理従事者、あるいは調理環境を介しての食品汚染があった可能性が考えられた。当該施設は「揚げたて天ぷら」を提供する店で、利用客の目の前で調理し提供する形態から、増殖の時間はなく、加熱温度も適正であった。一方、その他に提供された「野菜サラダ」や「漬物」等には加熱工程がないことから、これらの食品への二次汚染が主な原因と考えられた。以上、本事例は、調理人あるいは環境からの食品汚染によって発生した可能性が高く、二次汚染の観点からの防止策の必要性が再認識される事例であった。

なお、本血清型は、わが国で検出されるサルモネラ血清型の20位前後に位置し、比較的稀な血清型である。広島市では過去、河川水あるいは下水から例年数株程度検出されているものの、この血清型による集団食中毒は過去に発生しておらず、1997年～1999年までの過去3年間、本市の散発性食中毒届出の中にもみられない血清型であった。

広島市衛生研究所

石村勝之 児玉 実 橋渡佳子 山本美和子 毛利好江 佐々木敏之 河本秀一  
笠間良雄 山岡弘二 荻野武雄

(IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

### ウガンダのエボラ出血熱 更新

WHO/CSR 2001年1月17日

ウガンダ保健省は、Gulu地区で新たなエボラ出血熱確定診断患者1人を報告した。

この患者は2001年1月4日に死亡した患者と濃厚な接触があった。Guluでの累積患者数は死亡者150人を含む396人である。

Masindi地区では、2000年12月19日以来、新たな患者は報告されておらず、同地区での累積患者数は死亡者19人を含む27人のままである。

### オーストラリアでロスリバーウイルス感染症の流行

Health Canada 2001年1月19日

南オーストラリア州の保健省は、2000年12月27日までにWest Coast、Kangaroo島、Albert湖の近隣地域でロスリバーウイルス感染患者60例を報告した。オーストラリア北部でもロスリバーウイルス感染例が増加しているという報告があるが、この時期としては異常なほどではない。

ロスリバーウイルスは蚊が媒介し、オーストラリアに土着しているウイルスであり、オーストラリア全土で見られる。本ウイルスによる感染症は、特に北部の州と海岸地域で発生する。

普通は感冒様の症状であるが、時として長期間の関節痛と倦怠感を引き起こす。感染は1年を通して見られるが、11月下旬から4月の終わりの蚊の活動性が増加する雨季によく発生する。ロスリバーウイルスを伝播する蚊は夕暮れから夜明けにかけて刺咬する。

### 南アフリカのコレラ流行 更新

WHO/CSR 2001年1月16日

Kwazulu-Natal保健省は2000年の8月の中旬から始まった流行で、1月14日までに19,499人の患者と66人の死亡者を報告した。

### ポリオの根絶の認定 西太平洋地域、2000年10月

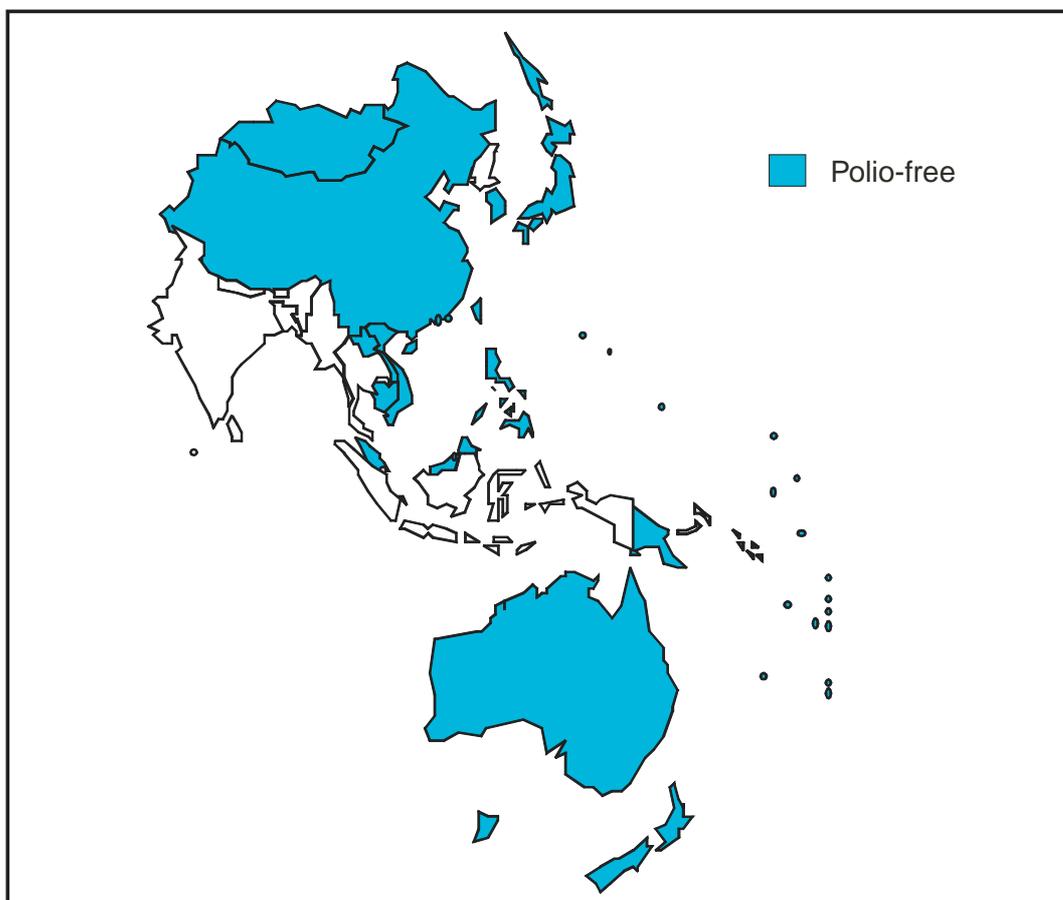
CDC/MMWR 2001年1月12日

2000年10月29日、ポリオ根絶地域認定委員会は、WHOの西太平洋地域での土着のポリオウイルス野生株による感染が根絶されたと確認した。土着のポリオウイルス感染による最後の確認患者は、1997年3月に発生したカンボジアの15カ月の女児であった。西太平洋地域は、WHOが分類する6つの地域の中で、1994年のアメリカ地域に続き、2番目にポリオの根絶が認定された地域となった。西太平洋地域は37の国と地域から構成されており(Figure 1)、推定16億人が住んでいる(世界人口の27%)。

各国の認定委員会が集めた5年間のプログラムに沿ったデータを再調査し、野生株のポリオウイルスの分離例の報告がないことで、野生株ポリオウイルスの伝播が断ち切られたことを地域委員会が確認した。地域の認定には、土着の野生株ポリオウイルスの分離例が3年以上確認されないことが必要となる。ポリオが根絶したと証明されるために必要な規準はさらに、(1)地域内全て

の国の全地域で高率にポリオの予防接種が行なわれていること、(2)全ての急性弛緩性麻痺(AFP)患者から採取した便検体をWHO認定の検査室で分析するなど、AFP全症例を検出するための有効なサーベイランスを行なっていること、(3)輸入ポリオ患者とポリオウイルスについて対応策が確立されていること、(4)ポリオ根絶活動を現在の強化レベルで少なくとも2005年まで、各国政府の責任で維持する政治的なコミットメント、である。

FIGURE 1. Countries and territories\* certified free of wild poliovirus - Western Pacific Region, 2000 (MMWR January 12, 2000 / Vol. 50 / No. 1 より)



\* American Samoa, Australia, Brunei Darussalam, Cambodia, China, Cook Islands, Fiji, French Polynesia, Guam, Hong Kong/China, Japan, Kiribati, Republic of Korea, Lao People's Democratic Republic, Macao/China, Malaysia, Marshall Islands, Micronesia, Federated States of Micronesia, Nauru, New Caledonia, New Zealand, Niue, Northern Mariana Islands, Palau, Papua New Guinea, Philippines, Pitcairn Islands, Samoa, Singapore, Solomon Islands, Tokelau, Tonga, Tuvalu, Vanuatu, Viet Nam, Wallis and Futuna Islands.



# 感染症の話

## プレジオモナス・シゲロイデス感染症

プレジオモナス(*Plesiomonas*)は、Ferguson & Hendersonが1947年に病歴不明のヒト糞便から初めて分離した。本菌はfamily *Vibrionaceae*(ビブリオ科)の*Plesiomonas*属に分類されるが、本属に含まれる菌種は*Plesiomonas shigelloides*(プレジオモナス・シゲロイデス)のみである。プレジオモナス・シゲロイデスはヒト下痢症との関係が最も注目され、わが国では1982(昭和57)年に新たな食中毒菌に指定された。本菌による下痢症のほとんどは散発例で、現在は海外渡航者下痢症の主要な原因菌となっているが、汚染食品または水による集団発生例の報告もある。

### 疫学

プレジオモナス・シゲロイデスは淡水域の常在菌で、河川、湖沼およびそこに生息する魚介類等に分布している。本菌感染症の発生は、それら自然環境の本菌による汚染が直接または間接に影響し、菌の増殖が活発な夏期に多い。本菌の分離率は、地域、年、季節、検査方法などによって異なるが、全体的に熱帯および亜熱帯地域の開発途上国で高い。わが国において散発的に下痢症から分離されるプレジオモナス・シゲロイデスのほとんどは渡航者由来であり、本菌は渡航者下痢症の主要な原因菌となっている(表)。この渡航者下痢症からの本菌の分離は他の病原菌との同時分離例が多いことも特徴である。

表. 海外旅行者からの腸管系病原菌検出状況 (東京都立衛生研究所 1998, 1999年)

年	1998			1999		
	下痢現症者	下痢既往者・健康者	合計	下痢現症者	下痢既往者・健康者	合計
検査件数	304	589	893	84	74	158
病原菌陽性者 (%)	165 (54.3)	187 (31.7)	352 (39.4)	54 (64.2)	23 (31.1)	77 (48.7)
検出病原菌						
毒素原性大腸菌	79	63	142	30	7	37
カンピロバクター	28	34	62	9	4	13
病原大腸菌・血清型	14	17	31	6	7	13
プレジオモナス	29	27	56	7	2	9
サルモネラ	17	35	52	6	2	8
エロモナス	32	38	70	5	2	7
腸炎ビブリオ	10	9	19	2	2	4
コレラ菌(毒素産生)	5	1	6	3	0	3
赤痢菌	5	6	11	2	0	2
ナグビブリオ	0	2	2	1	0	1
コレラ菌(毒素非産生)	2	0	2	0	0	0
ベロ毒素産生性大腸菌	1	1	2	0	0	0
組織侵入性大腸菌	1	1	2	0	0	0

\* 同一検体から複数菌が検出される例があるので、病原菌陽性者数と検出病原菌数とは一致しない。

開発途上国で発生する本菌下痢症の散発例や、それらの地域への渡航者下痢症の発症には水系感染も疑われるが、わが国における集団発生例の原因のほとんどは魚介類およびその加工品である。わが国ではこれまでに12例(うち1例は飲料水が推定原因)のプレジオモナス・シゲロイデスによる食中毒または集団下痢症が報告されており、最近では2000年6月、静岡県内の飲食店で患者数36名の食中毒事例が報告された。

一方、本菌の腸管外感染もまれではなく、新生児の敗血症および髄膜炎、成人の敗血症および蜂巣炎などの原因菌として報告されたが、いずれも新生児または基礎疾患のある患者における日和見感染である。

### 病原体

プレジオモナス・シゲロイデスはグラム陰性の通性嫌気性桿菌で、菌体の一端に2ないし数本の鞭毛を持つ。明らかな莢膜はみられないが、大部分の菌株には生菌のO凝集を阻止する易熱性の莢膜様物質がある。はじめ本菌は*Shigella sonnei*と同一の菌体抗原(O抗原)を保持することで注目されたが、現在では98種類の菌体抗原(O抗原)と49種類の鞭毛抗原(H抗原)が確認され、これらのO抗原の中には*S. sonnei*に限らず他の赤痢菌との共通抗原の存在も明らかにされている。

プレジオモナス・シゲロイデスの病原性については多くの説があり、しばしば議論されているが結論は得られていない。現在のところ本菌が下痢症の原因菌とされる理由は、下痢患者と健康者からの本菌の出現頻度が下痢患者において顕著に高いという点である。

### 臨床症状

臨床症状の主なものは下痢と腹痛であるが、主徴は下痢で、腹痛は一般に軽度である。喫食から発症までの潜伏時間は通常10～20数時間であるが一様でない。下痢は1日数回程度、便性状は通常水様性であるが軟便であることも多い。発熱はほとんどみられず、あっても微熱にとどまる。散発例ではまれに赤痢様あるいはコレラ様症状のみられるときもあり、脱水症状、アシドーシスに陥ることもある。しかし、多くの患者は下痢のみの軽症のため、発症から2～3日で回復する。

### 病原診断

軽度の急性胃腸炎であることが多く、確定診断には糞便からの菌の分離が必要である。糞便からのプレジオモナス・シゲロイデスの分離培養検査には、赤痢菌やサルモネラの選択分離培地であるSS培地およびDHL寒天培地などを適用できる。本菌はこれらの培地上で赤痢菌とよく似た形状の集落を作り、しかも生化学的性状の代表的な確認培地であるTSI寒天培地の所見も同様である。さらに前述したように、プレジオモナス・シゲロイデスの一部の菌株は赤痢菌と共通のO抗原を保持し、赤痢菌診断用抗血清に凝集するので注意を要する。赤痢菌との鑑別には、オキシダーゼ、リジン脱炭酸、運動性の各試験を行えばよい。なお、本菌の血清型別は国立感染症研究所において実施できる。

### 治療・予防

軽症例はあえて特別な治療をしなくても自然に治癒する。しかし、新生児や基礎疾患のある患者、他の菌種との混合感染の患者は重症になることもあり、抗菌薬の投与が必要になる。プレジオモナス・シゲロイデスは多くの抗菌薬、特にニューキノロン系(ノルフロキサシンは乳児で、他は小児全てに禁忌)、セファロスポリン系、ナリジクス酸(3カ月以下の乳児への投与は禁忌)に感受性であるが、アンピシリン、カナマイシン、ストレプトマイシンには耐性株がみられるので使用を避けた方がよい。

プレジオモナス・シゲロイデス感染症の予防は、一般の細菌性食中毒の予防法と同様である。なかでも特に注意すべきことは、給水施設の衛生管理が不十分な水を飲用しないことである。本菌の汚染が考えられる水あるいは魚介類からの調理食品の二次汚染を防止する。また、開発途上国への旅行者および滞在者は、生水を摂取しないように十分注意することである。

### 食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(神奈川県衛生研究所細菌病理部 山井志朗)



## 読者のコーナー

Q: インフルエンザ警報・注意報について教えてください。(熊本県 Mさん)

### インフルエンザ警報・注意報について

厚生労働省・感染症発生動向調査における新システム「警報注意報発生システム」は昨年末より本格運用が開始されました。本システムのねらいは、都道府県衛生主管部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾患について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、データに何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

流行発生警報と注意報の2種類があり、警報の発生は、大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということを含み、注意報の発生は、流行の発生前であれば、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があるということ、流行の発生後であれば流行が継続している(終息していない)可能性があることを意味します。ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくものであり、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要です。本警報システムでは、感染症発生動向調査に関わる当該保健所とともに、当該都道府県内の全保健所の警報発生状況、全国の警報発生状況を把握することができます。

国立感染症研究所感染症情報センターでは、警報・注意報発生の対象疾患となる定点把握感染症のうち、インフルエンザについて、社会的要望の大きさを鑑み、流行シーズン中、本システムで得られた情報の一部を迅速に還元・提供することとしました。国立感染症研究所のホームページにおいて、最新の警報・注意報発生状況を日本地図上に都道府県単位で示しています(毎週更新)。本来、警報・注意報は保健所単位で発生しますが、ホームページ上では、一つでも注意報が出ている保健所があればその都道府県に黄色い色が、一つでも警報が出れば赤い色が表示されます。また、都道府県ごとに全保健所数と警報・注意報の出ている保健所の数を見ることが出来ます(国立感染症研究所感染症情報センターホームページ <<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>> トピックス「インフルエンザ」より「インフルエンザ警報・注意報」を選択して閲覧)。

### 警報発生の仕組み

警報は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(警報の開始基準値)以上の場合に発生します。前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点当たり報告数が別の基準値(警報の継続基準値)以上の場合に発生します。注意報は、警報が発生していないときに、1週間の定点当たり報告数がある基準値(注意報の基準値)以上の場合に発生します。

警報の基準値は、過去5年間の流行状況(全国の定点を有する保健所数×5年間×52週;インフルエンザ定点で延べ約17万週)の中で、一連の警報発生の起こる確率が1%程度になるように決めました。注意報の基準値は、警報発生前の4週間に注意報が出る確率を約60～70%、警報が発生しない期間に注意報が出ない確率を約95～98%、注意報が出た場合にその後4週間以内に警報が出る確率(注意報的中率)を約20～30%になるように定めています。インフルエンザの警報・注意報の基準値は以下のとおりです(基準値はすべて定点当たりの値)。

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	継続基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10

**警報発生を見る上での注意**

本警報システムでは、過去5年間で1%以下の確率でしかおこらない規模の流行、すなわちかなり大きな規模の流行を想定しているため、小規模の流行、あるいは小地域での流行では、実際に地域流行があっても警報が出ない可能性があります。また、極めて限られた地域での流行では、警報が発生されてもその流行が継続や拡大をしない可能性もあります。

( 国立感染症研究所感染症情報センター )

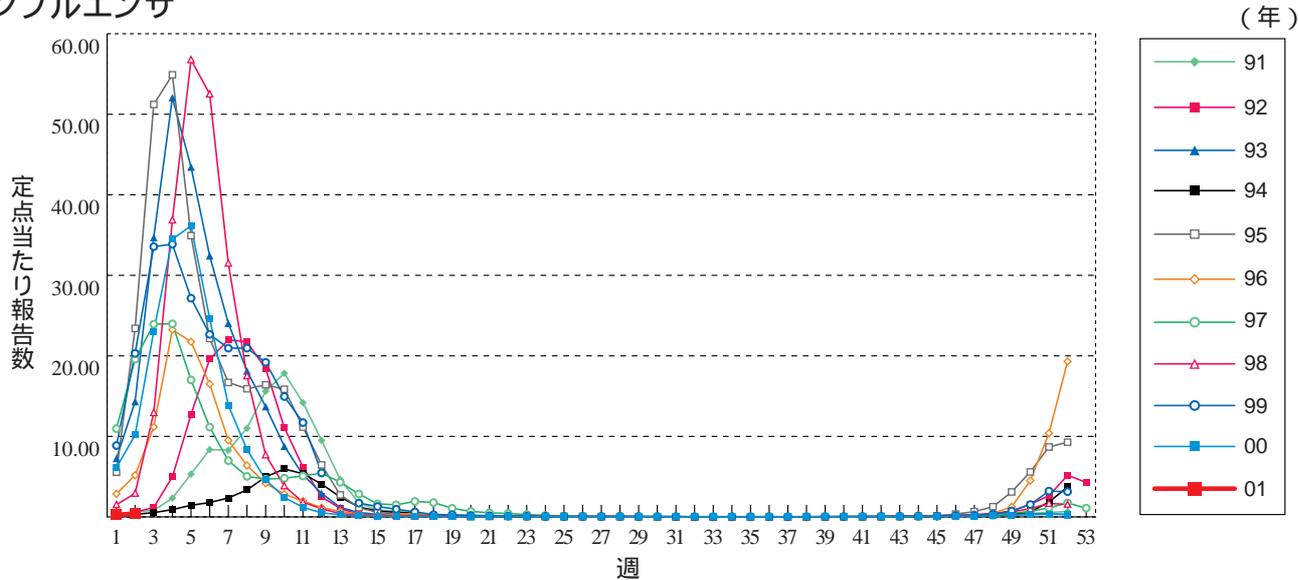
\*\*\*\*\*

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名( タイトル )の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

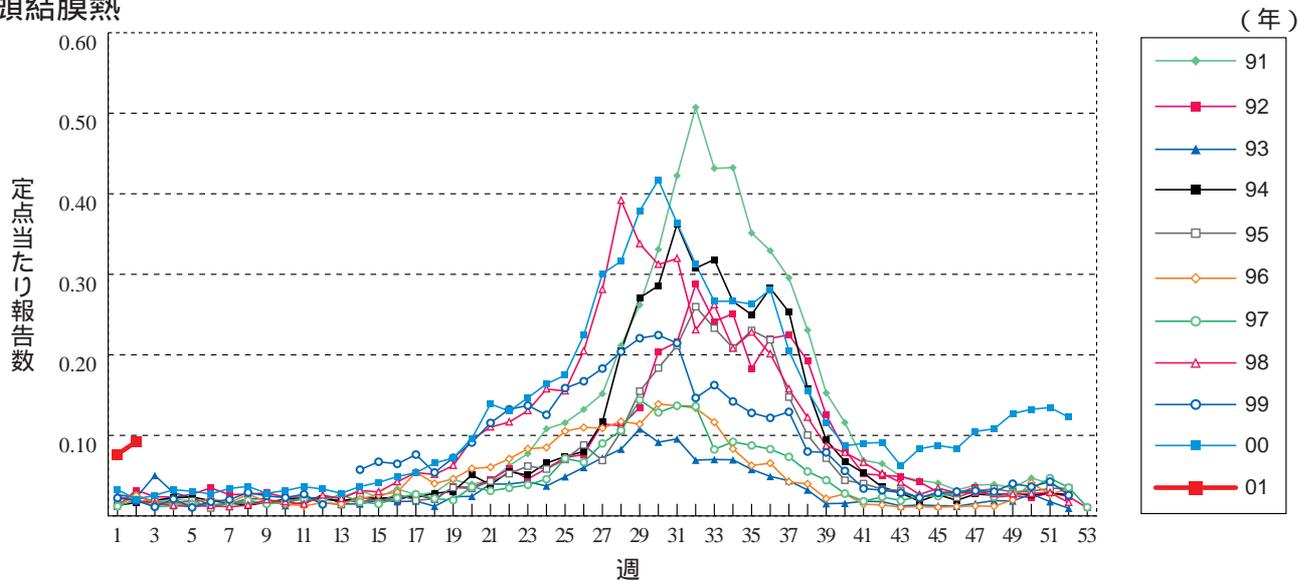
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(2週)**

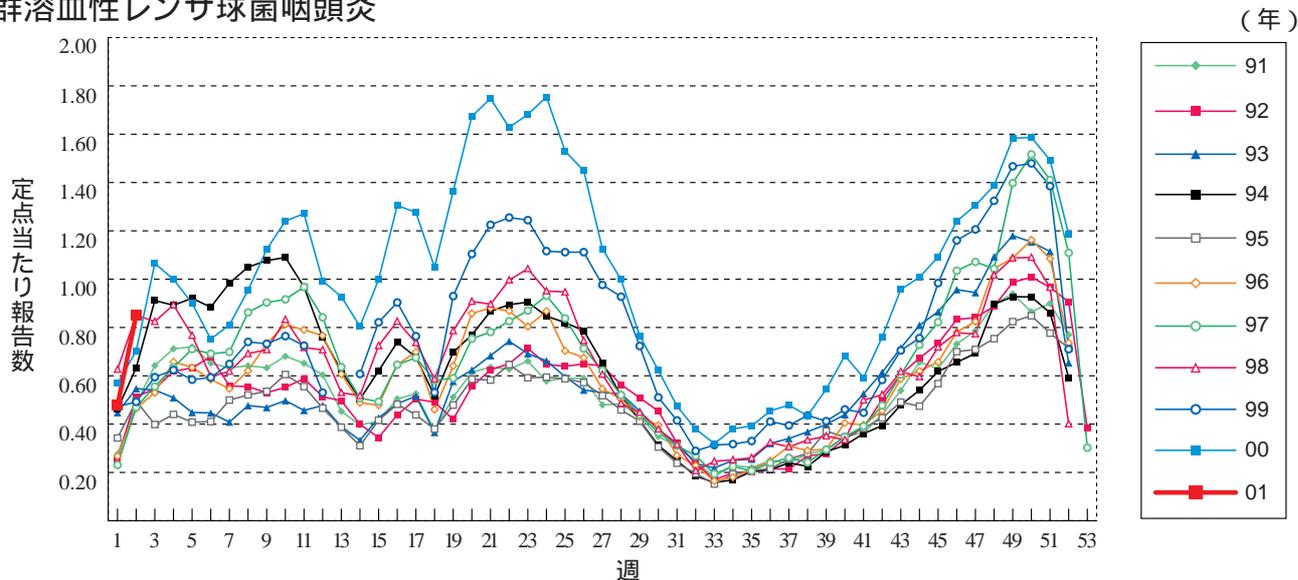
**インフルエンザ**



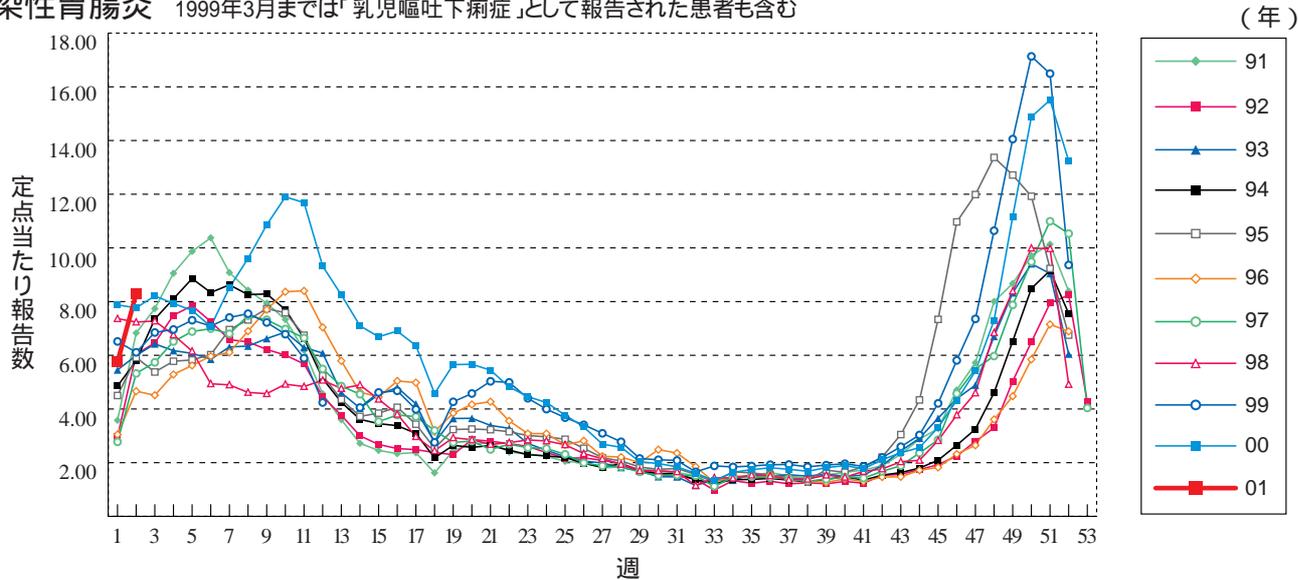
**咽頭結膜熱**



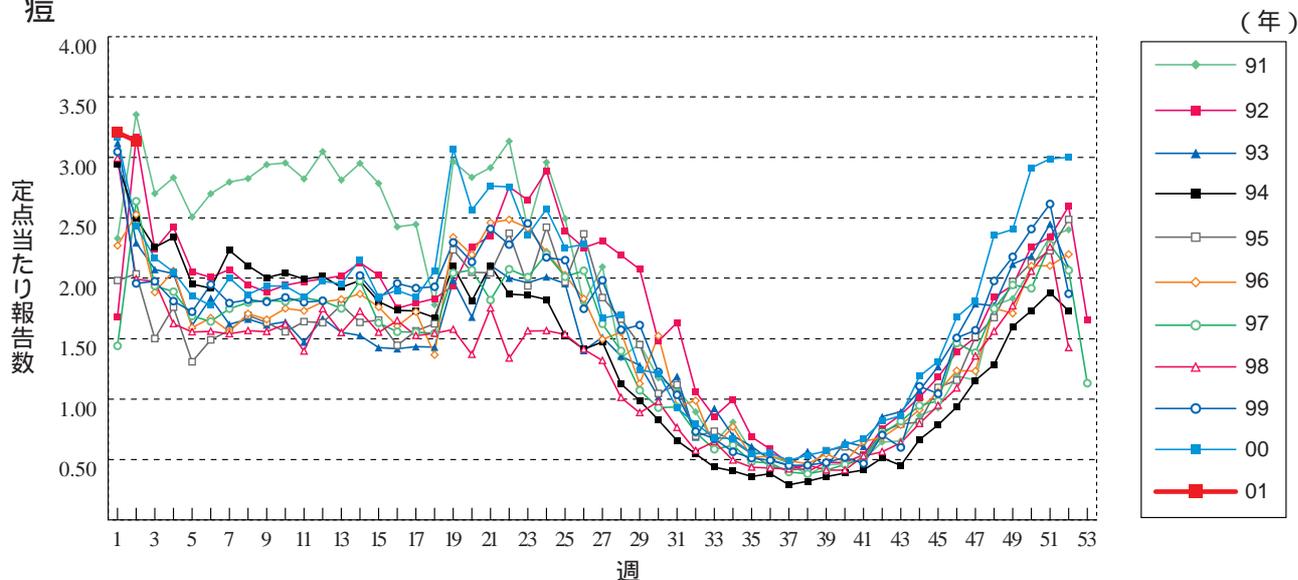
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



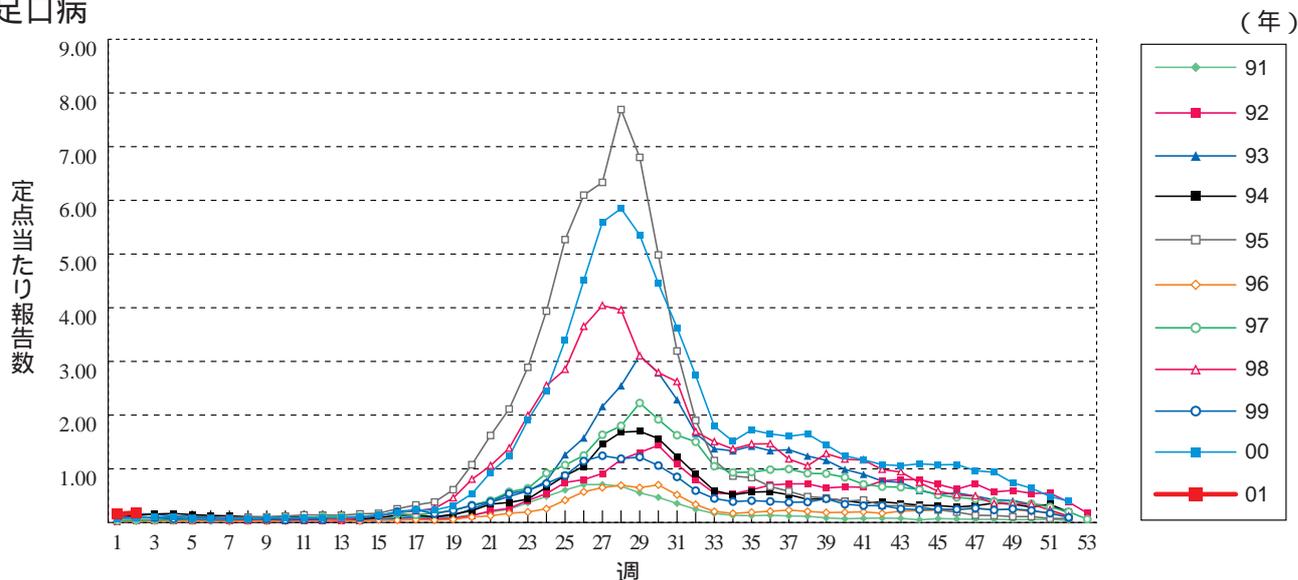
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



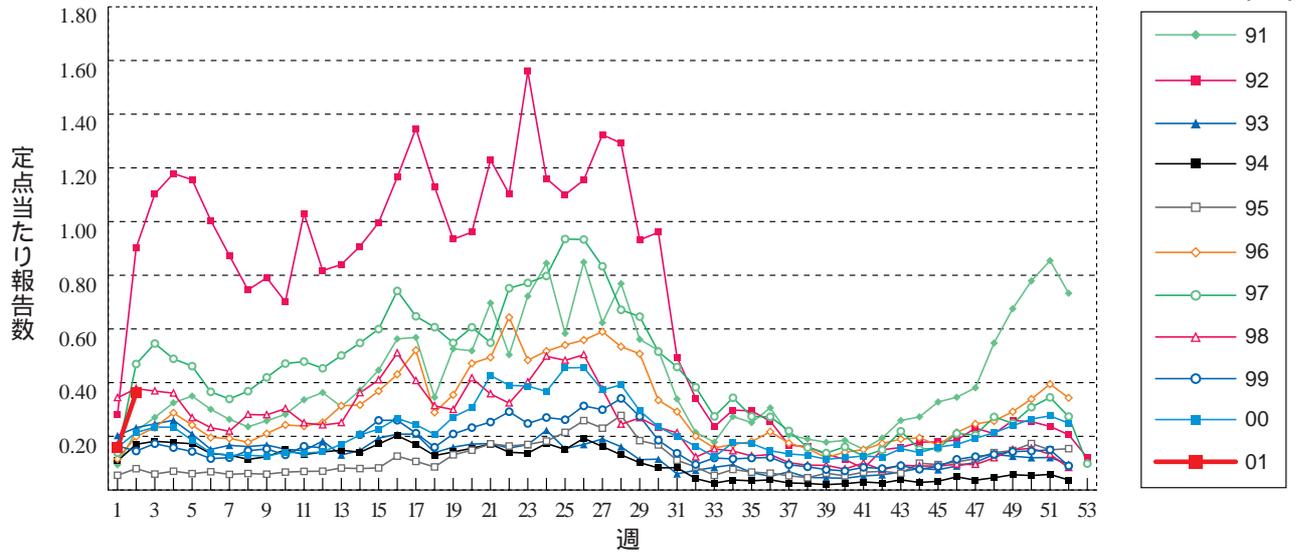
**水痘**



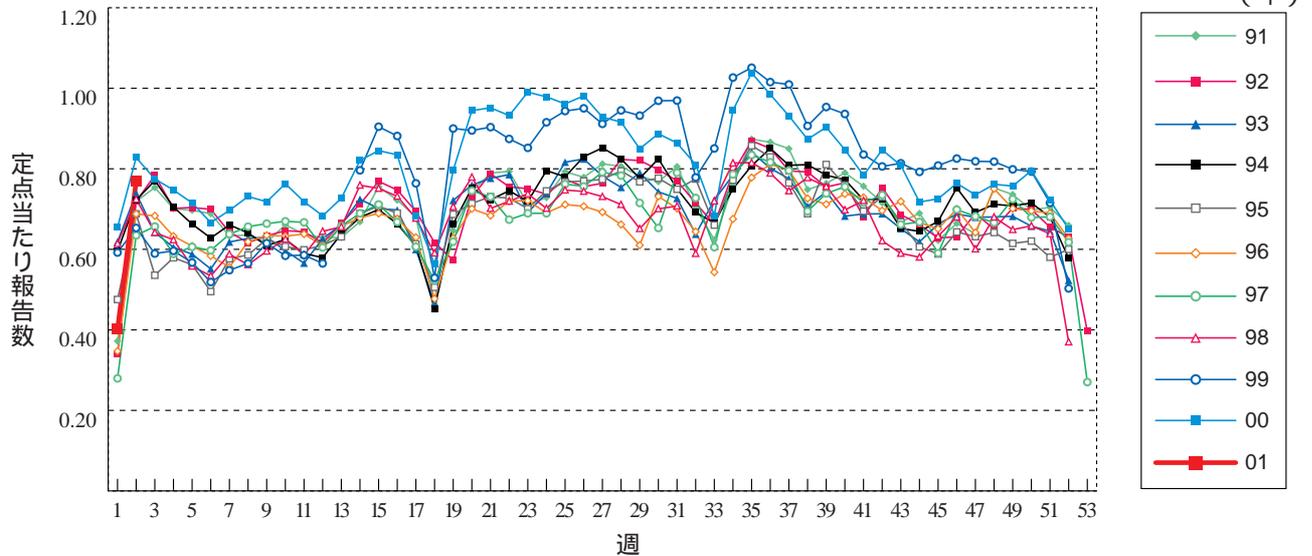
**手足口病**



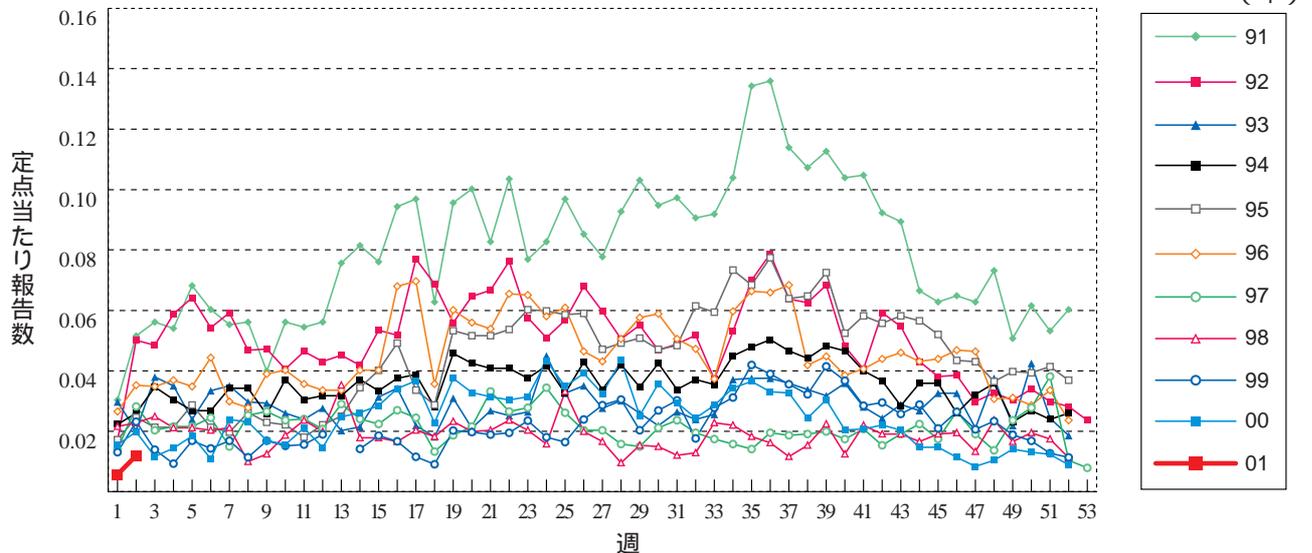
伝染性紅斑



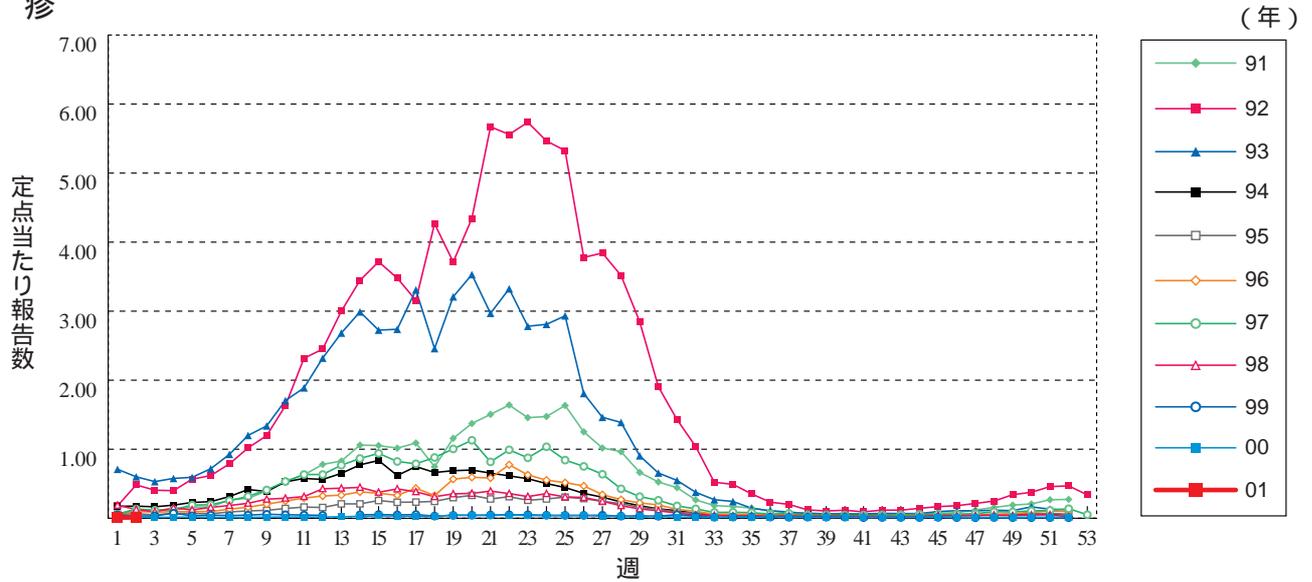
突発性発疹



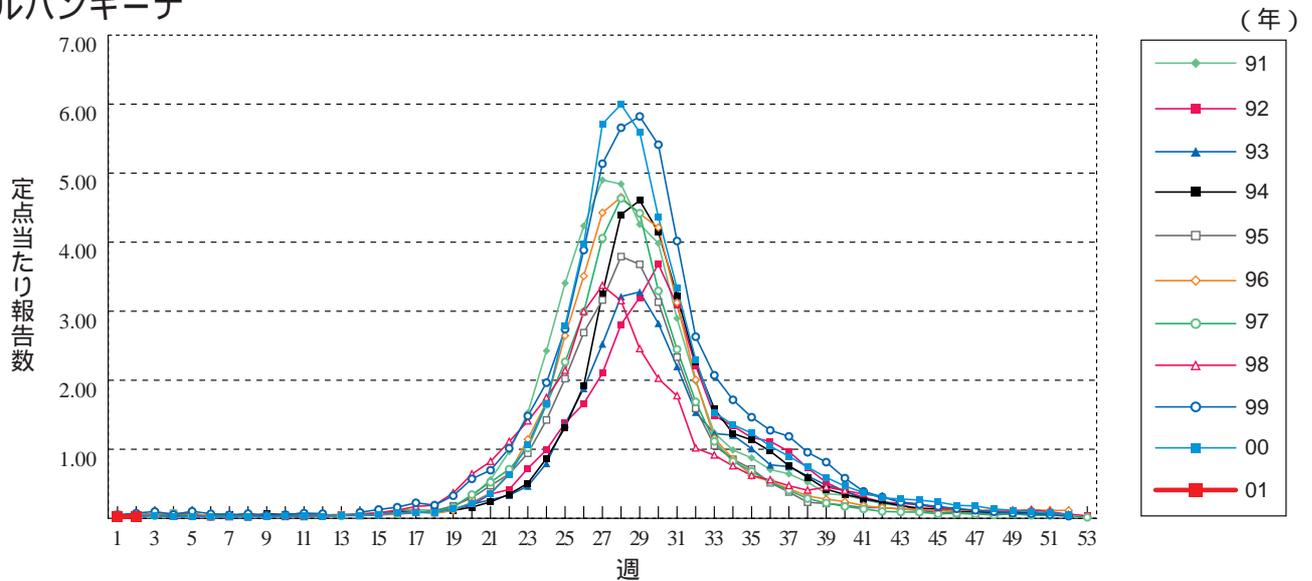
百日咳



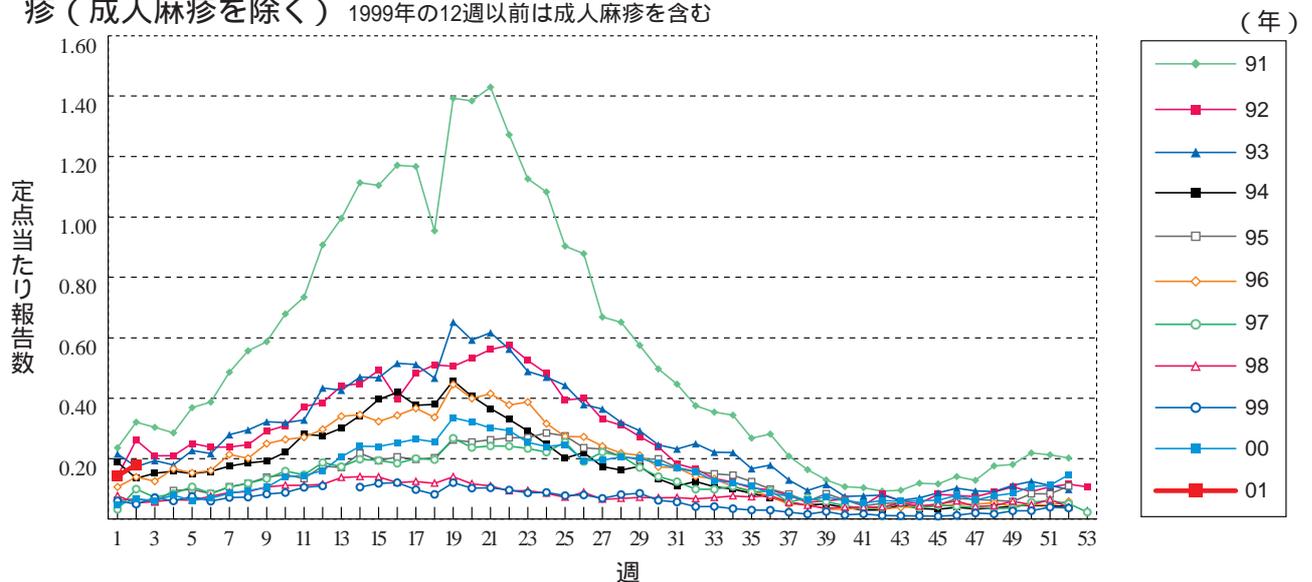
風 疹



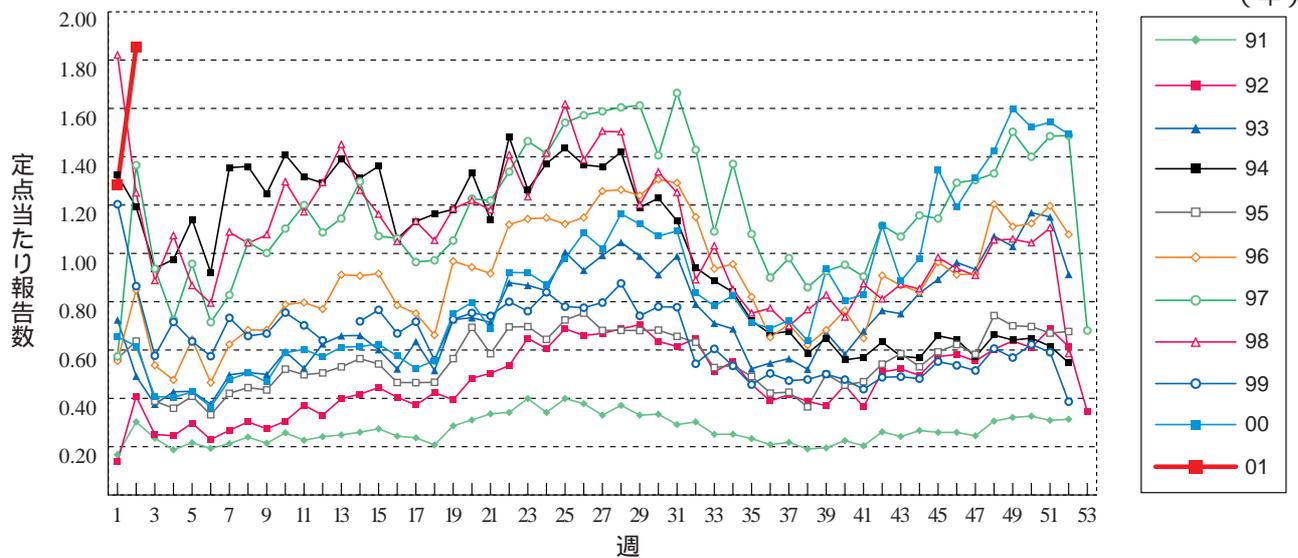
ヘルパンギーナ



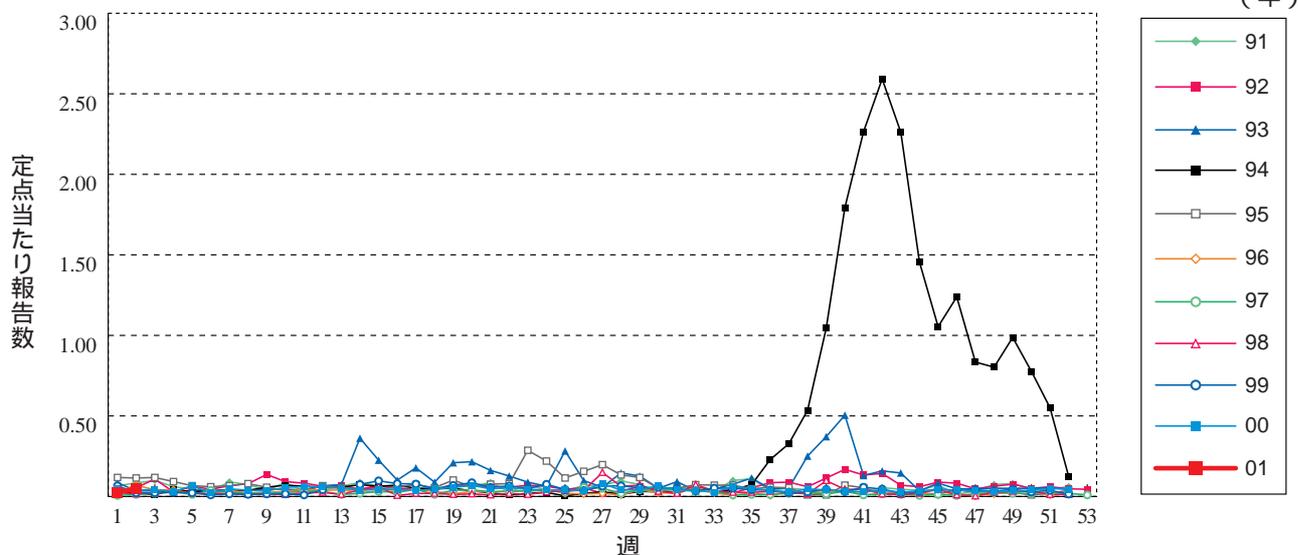
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



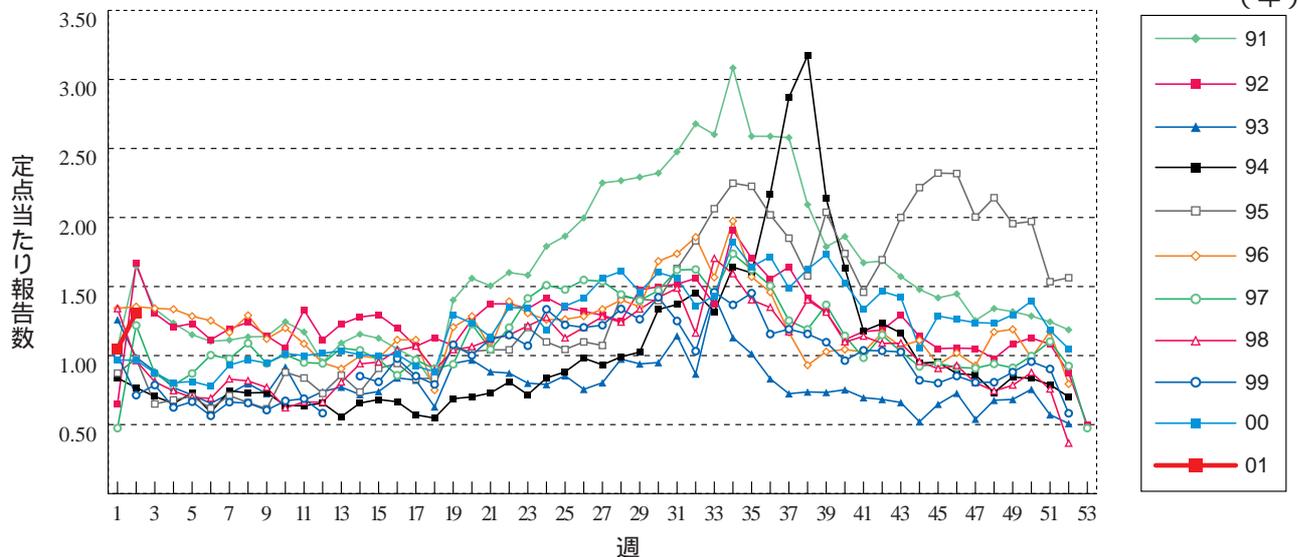
**流行性耳下腺炎**



**急性出血性結膜炎**

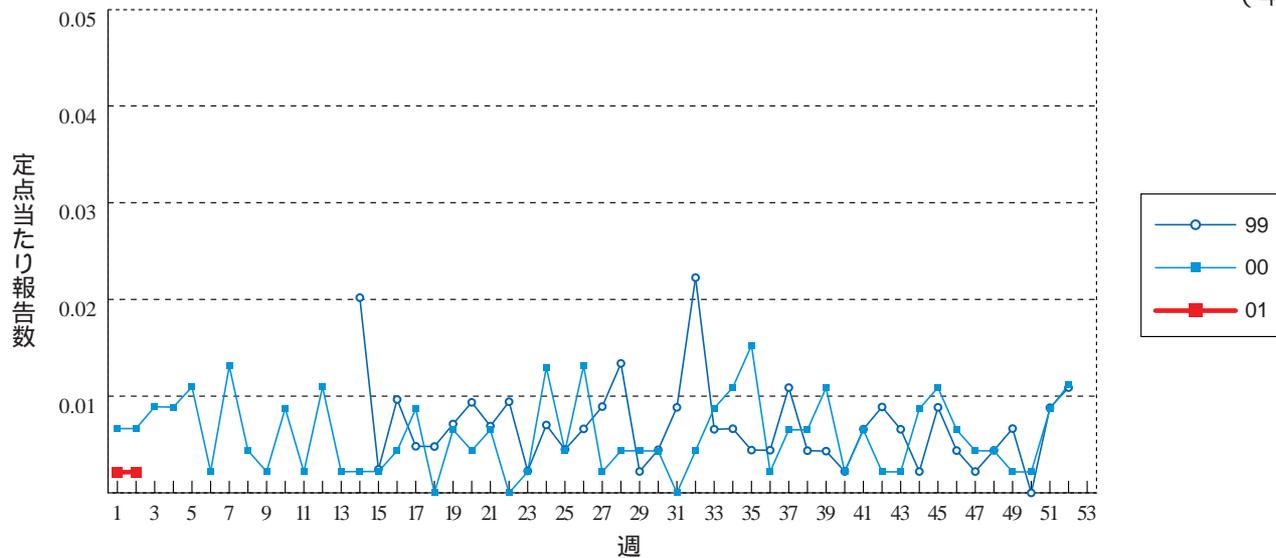


**流行性角結膜炎**



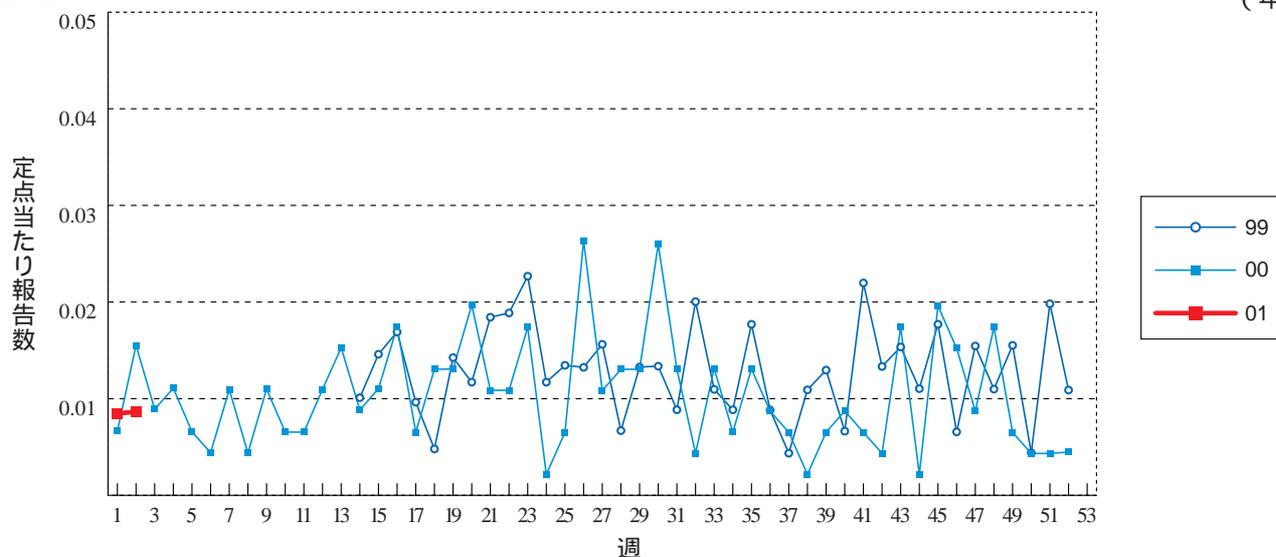
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



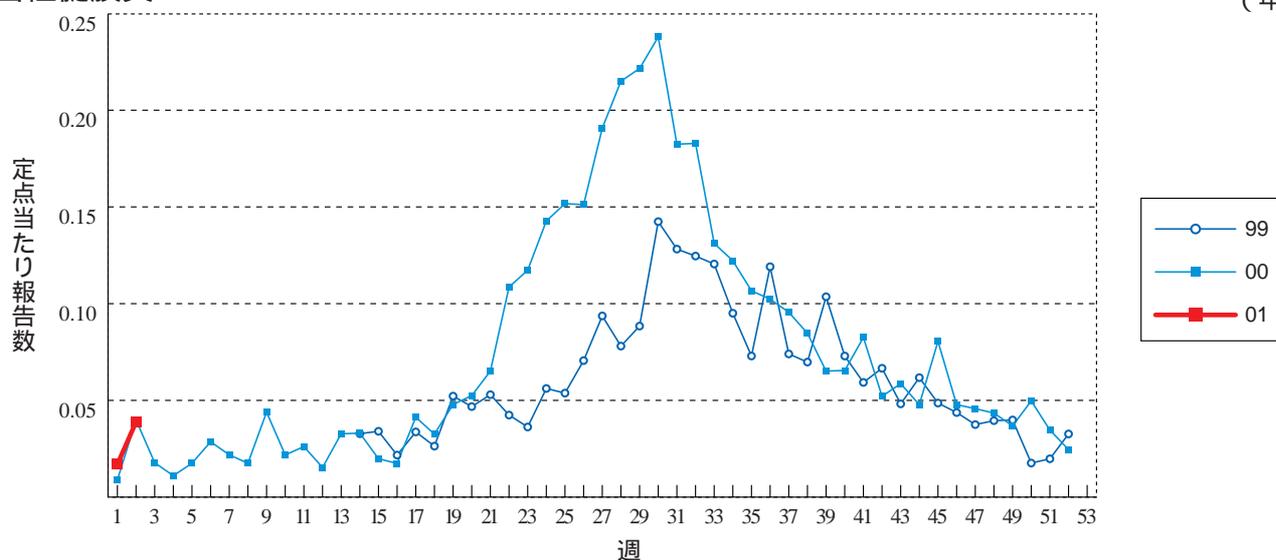
細菌性髄膜炎

(年)



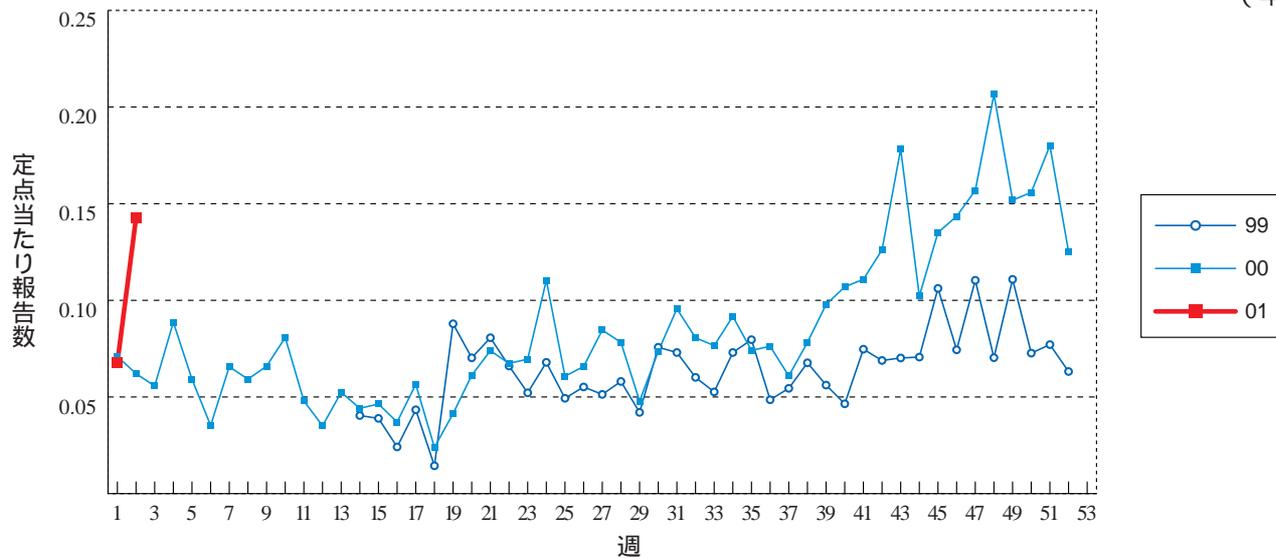
無菌性髄膜炎

(年)



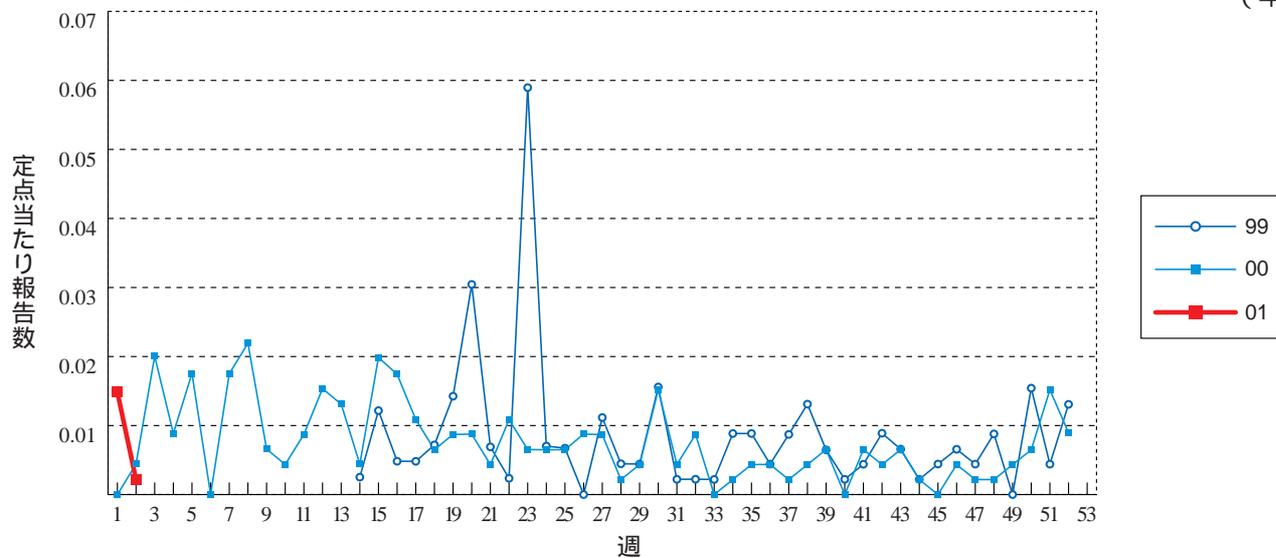
マイコプラズマ肺炎

(年)



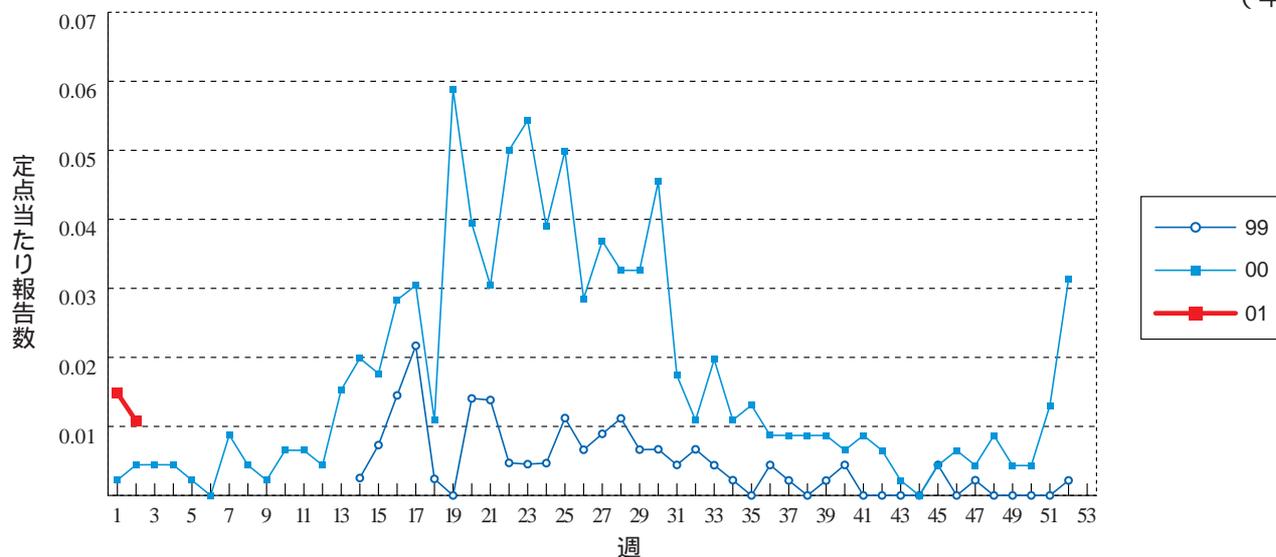
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

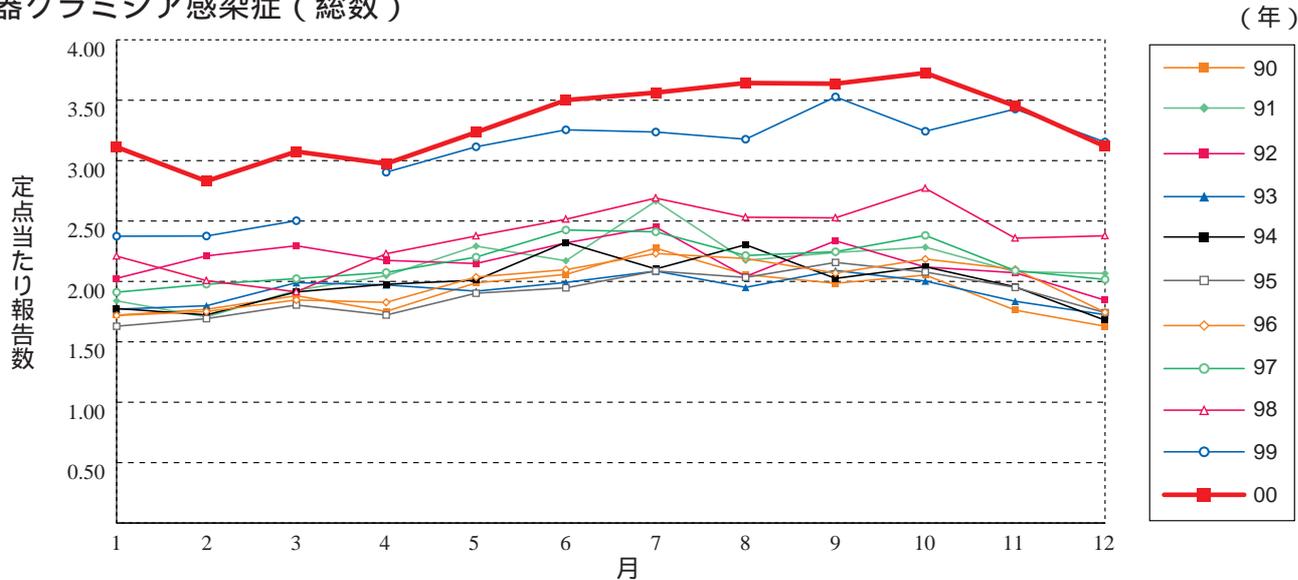




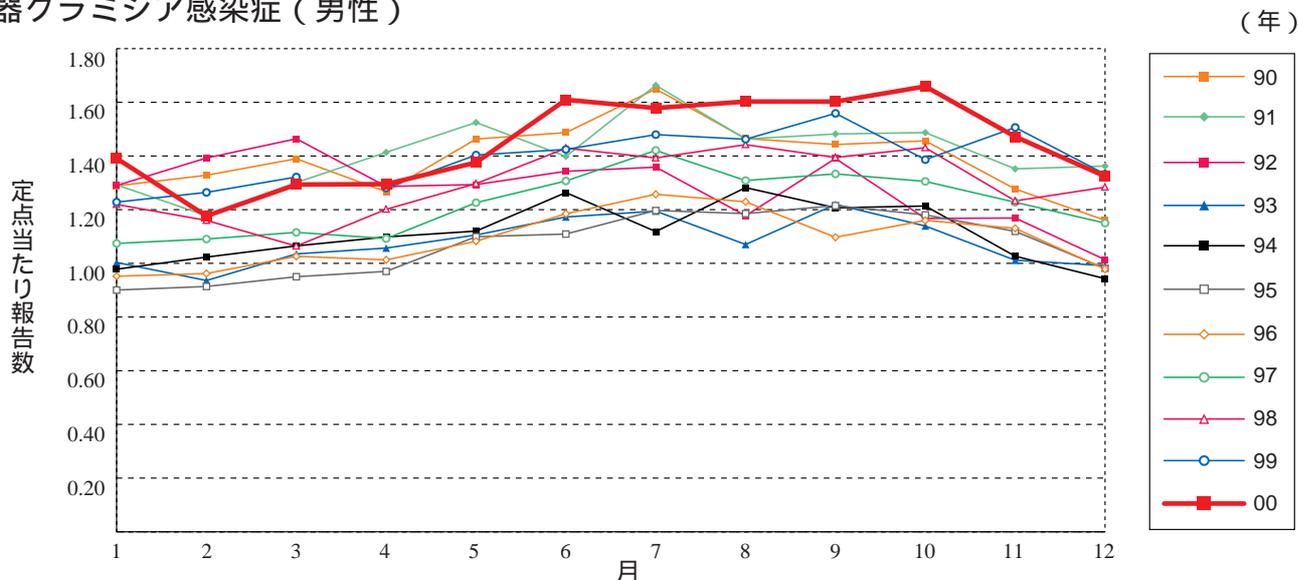
**グラフ総覧(12月)**

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

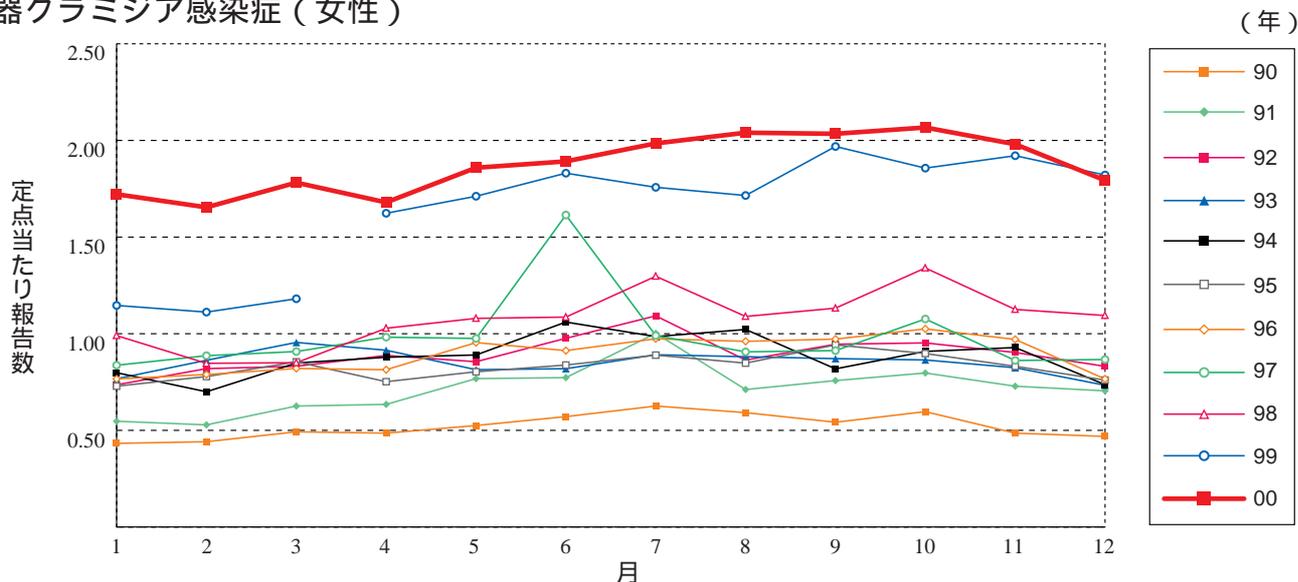
**性器クラミジア感染症(総数)**



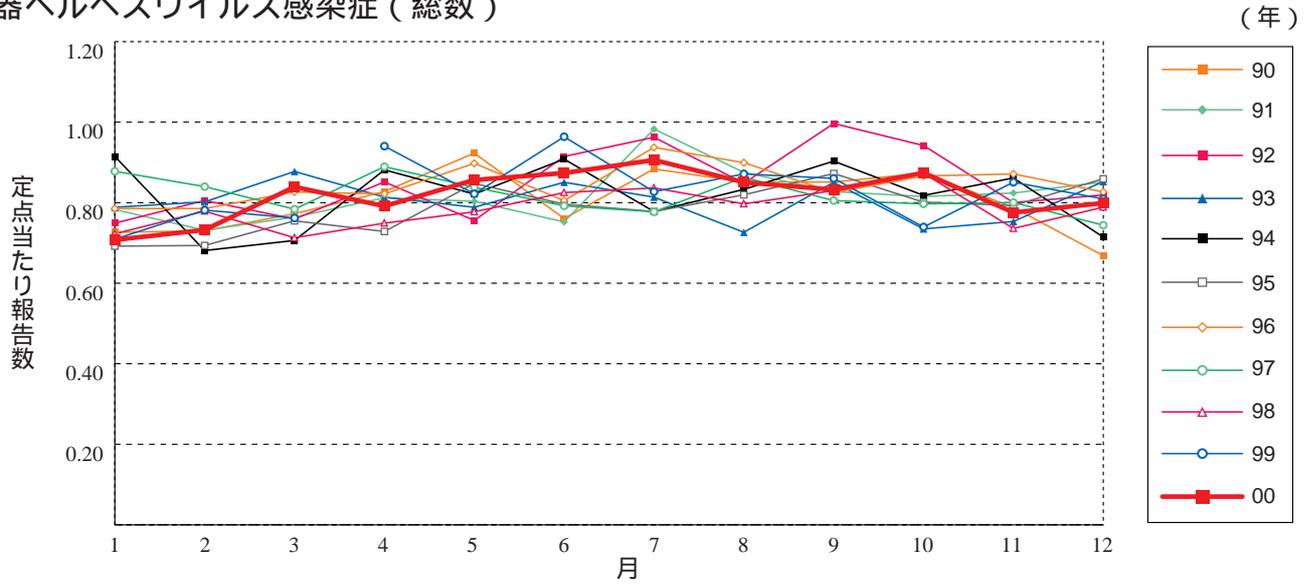
**性器クラミジア感染症(男性)**



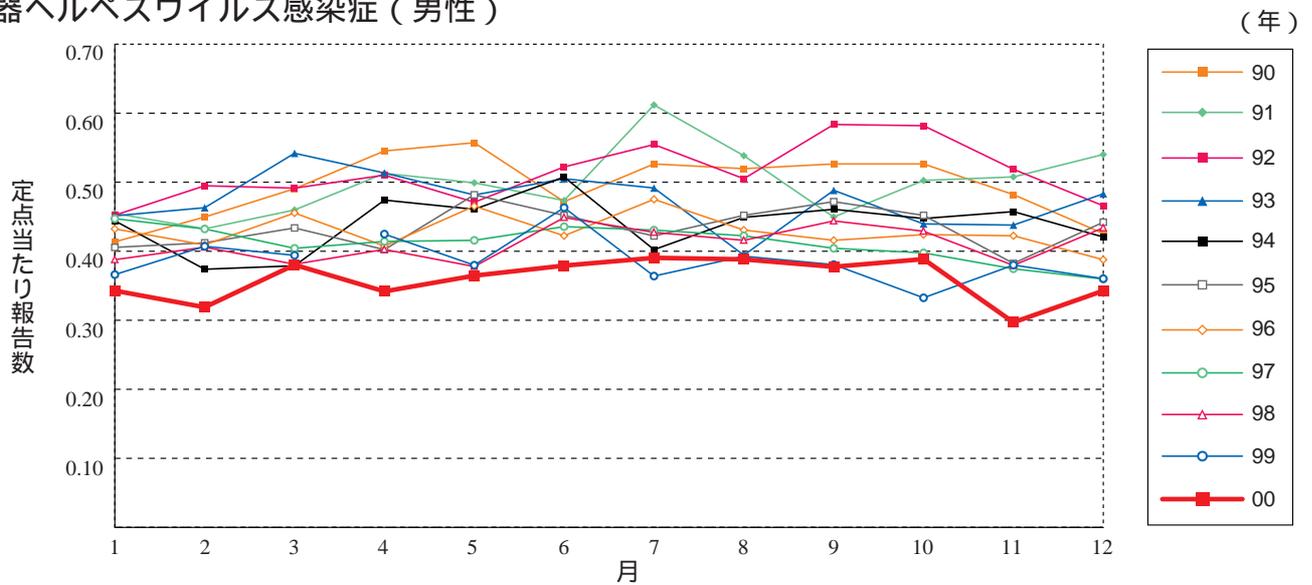
**性器クラミジア感染症(女性)**



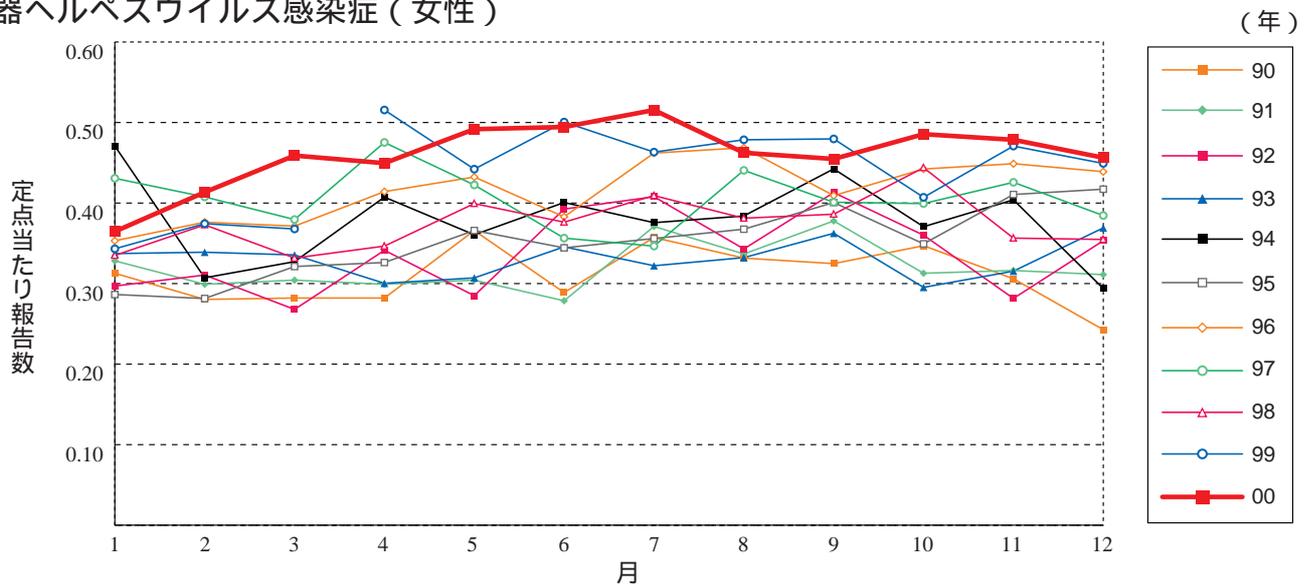
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



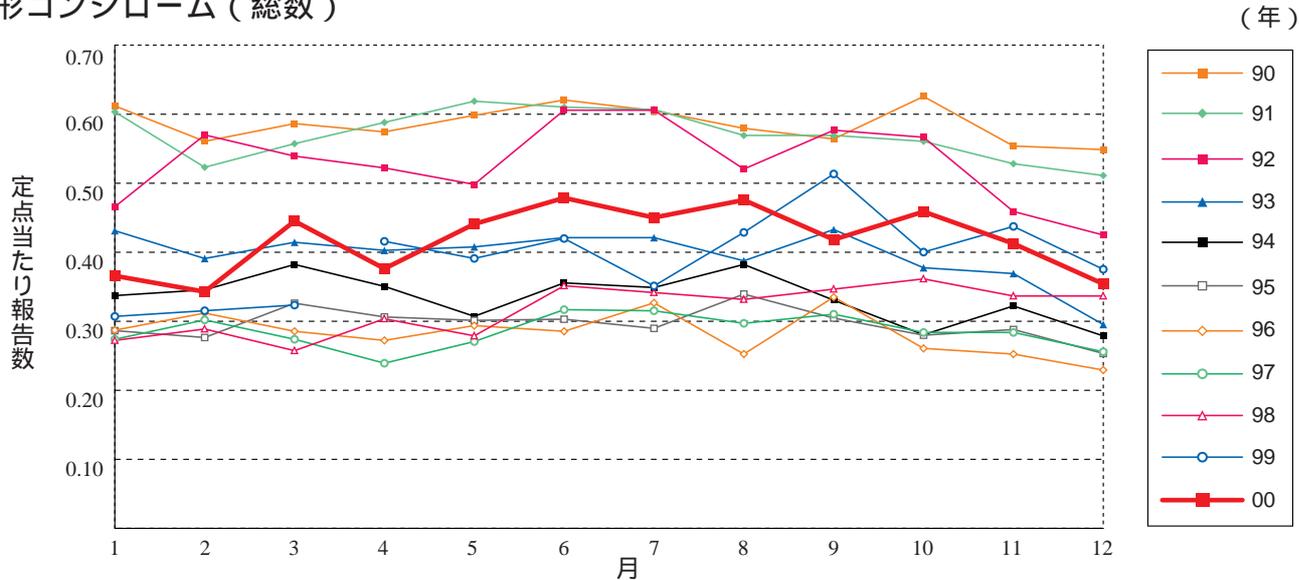
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



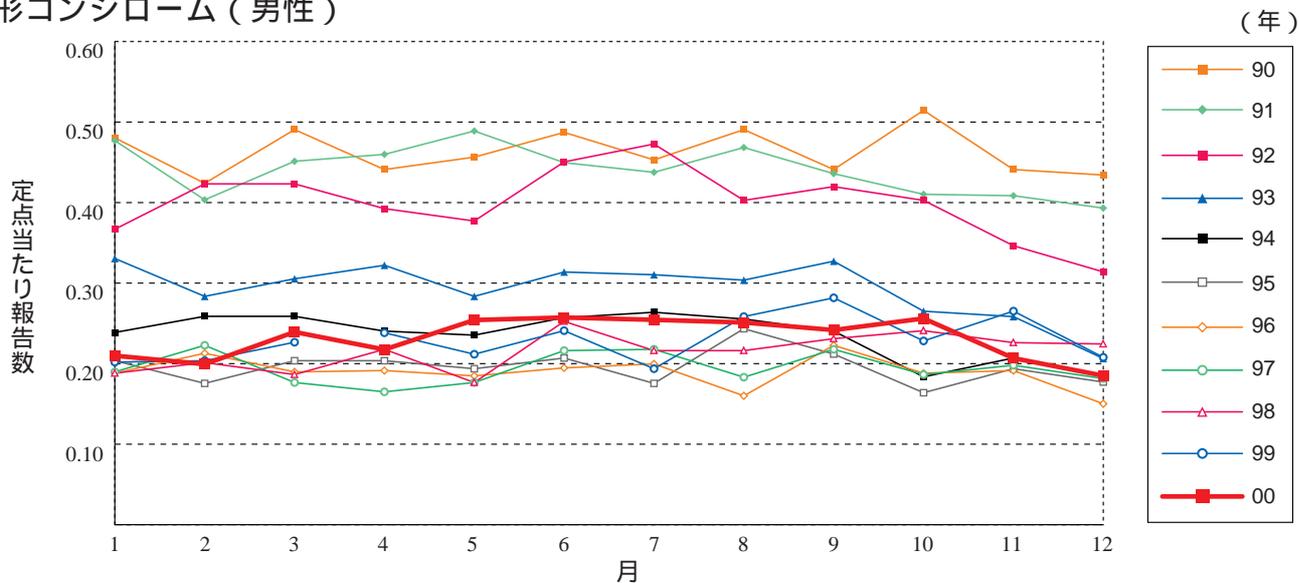
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



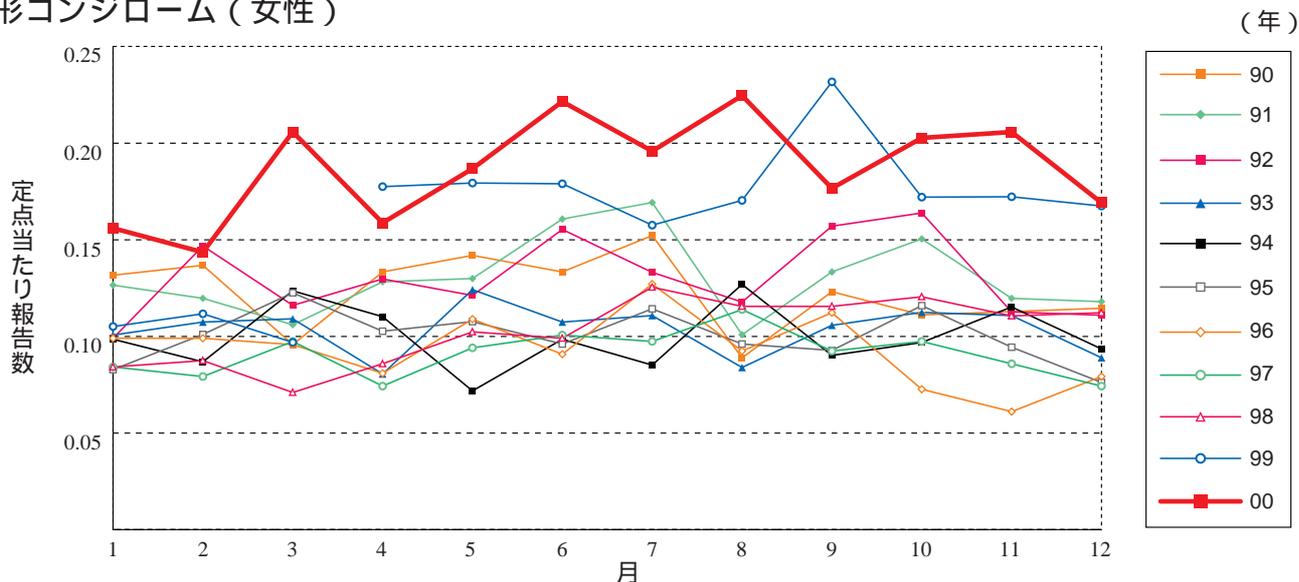
尖形コンジローム (総数)



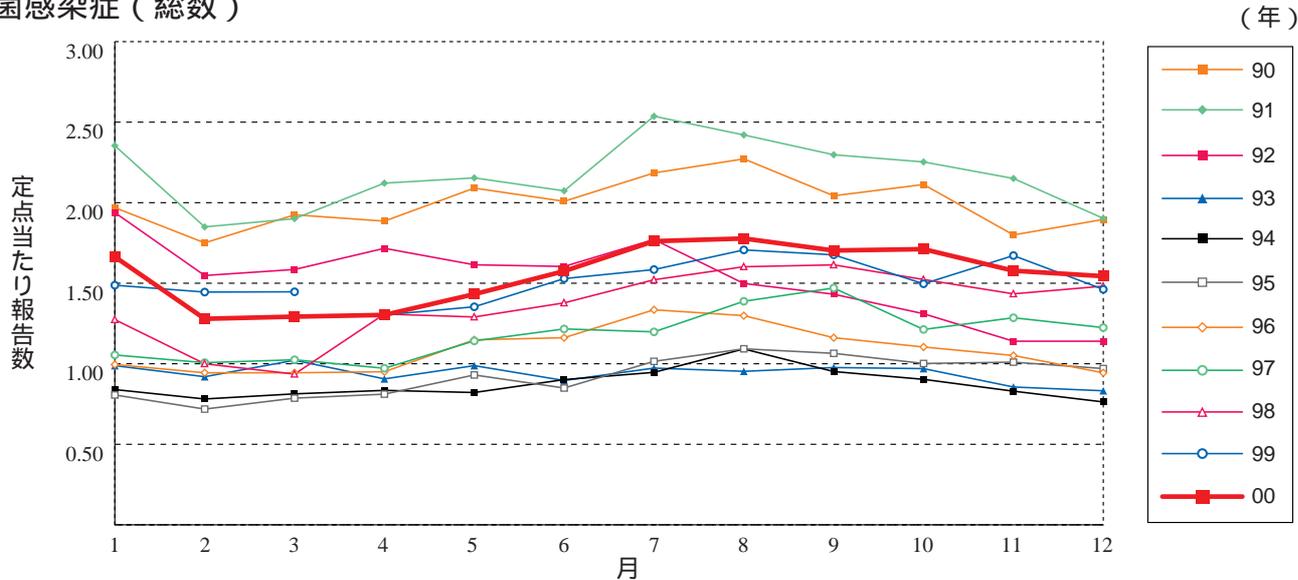
尖形コンジローム (男性)



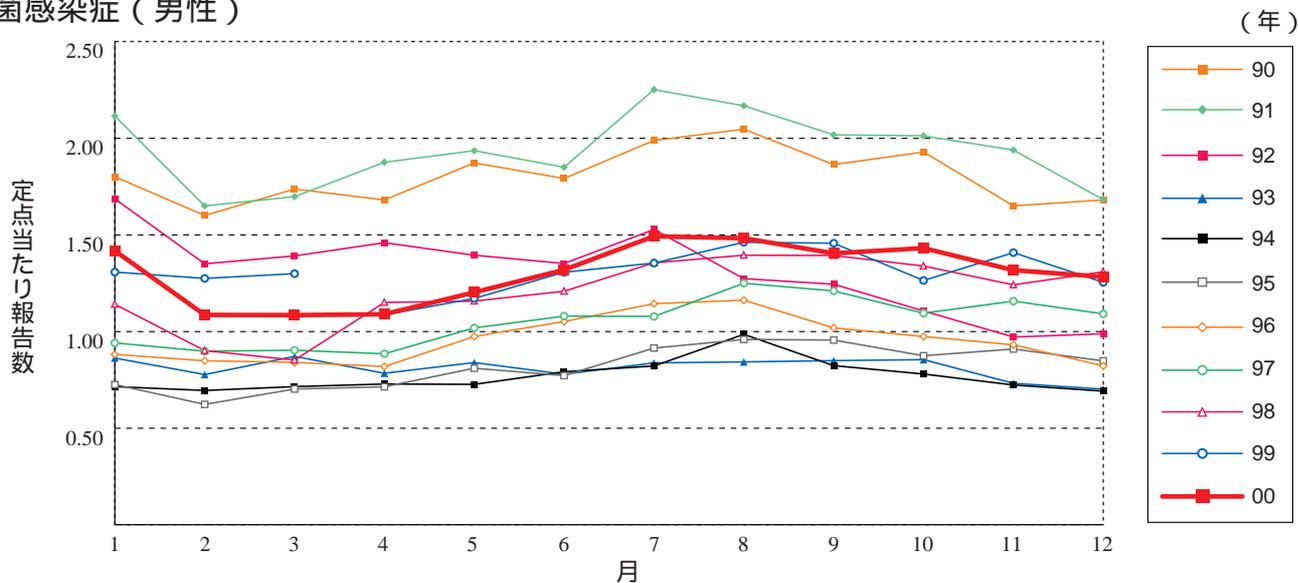
尖形コンジローム (女性)



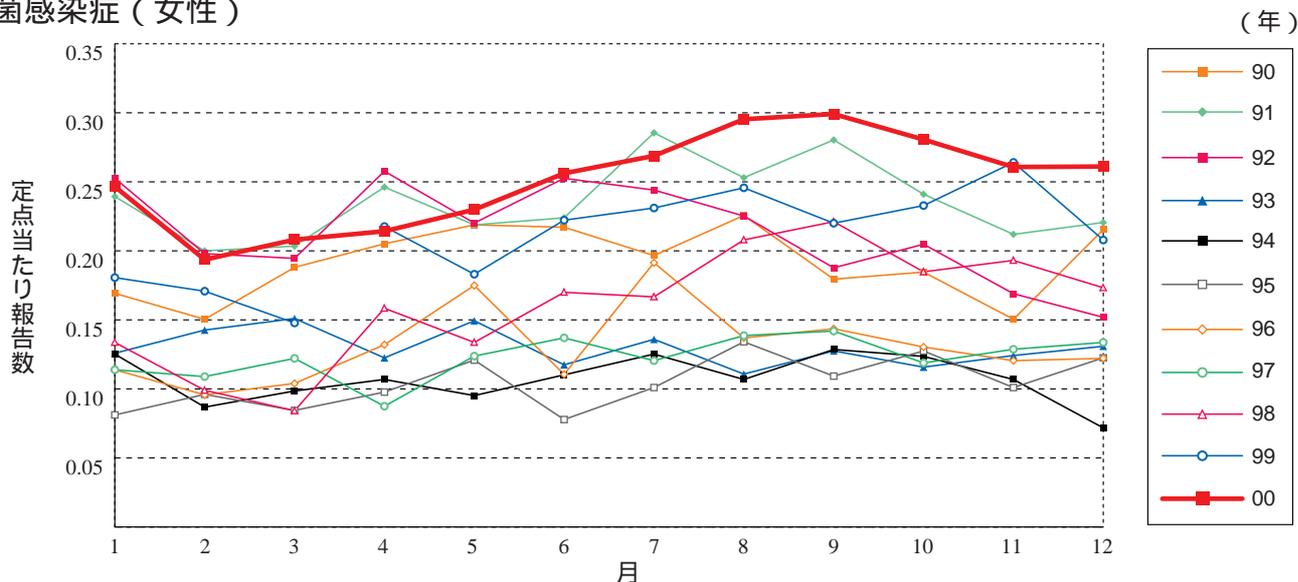
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

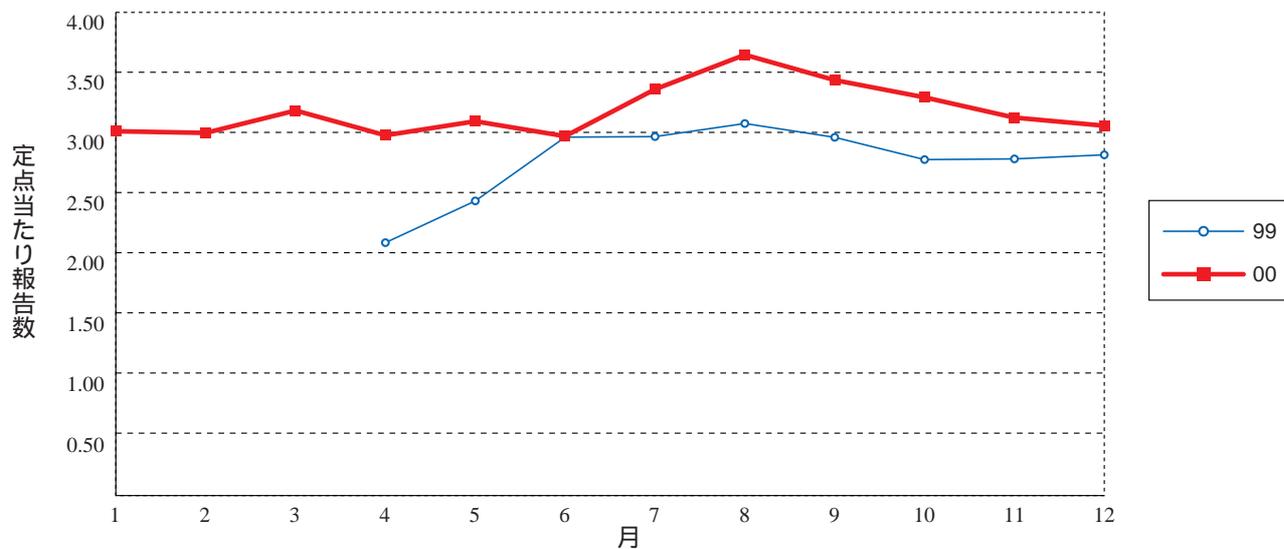


淋菌感染症 (女性)



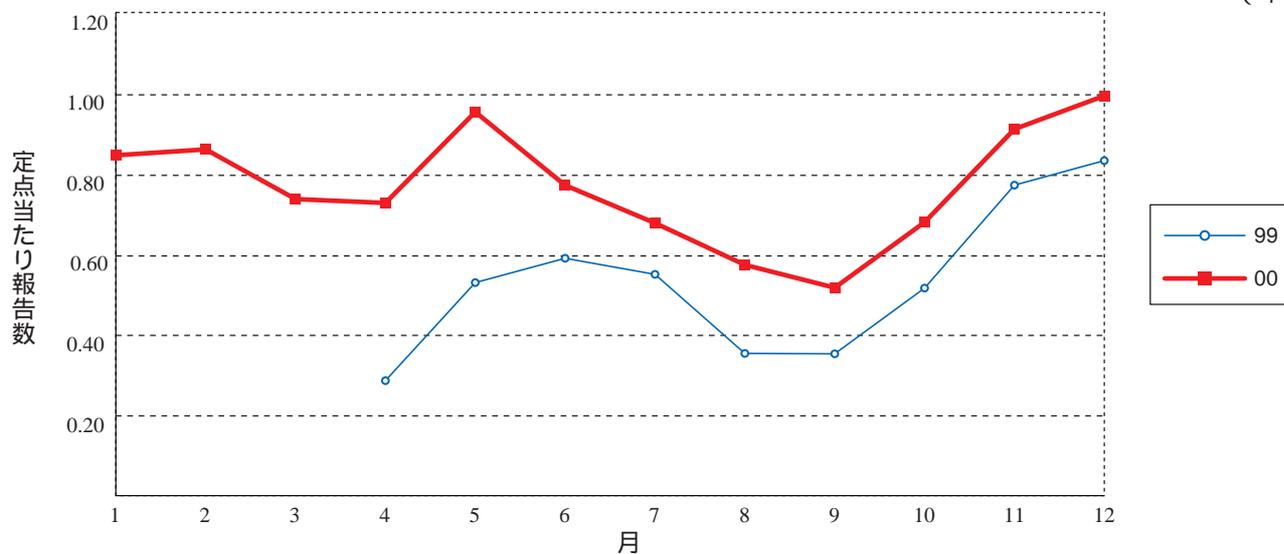
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



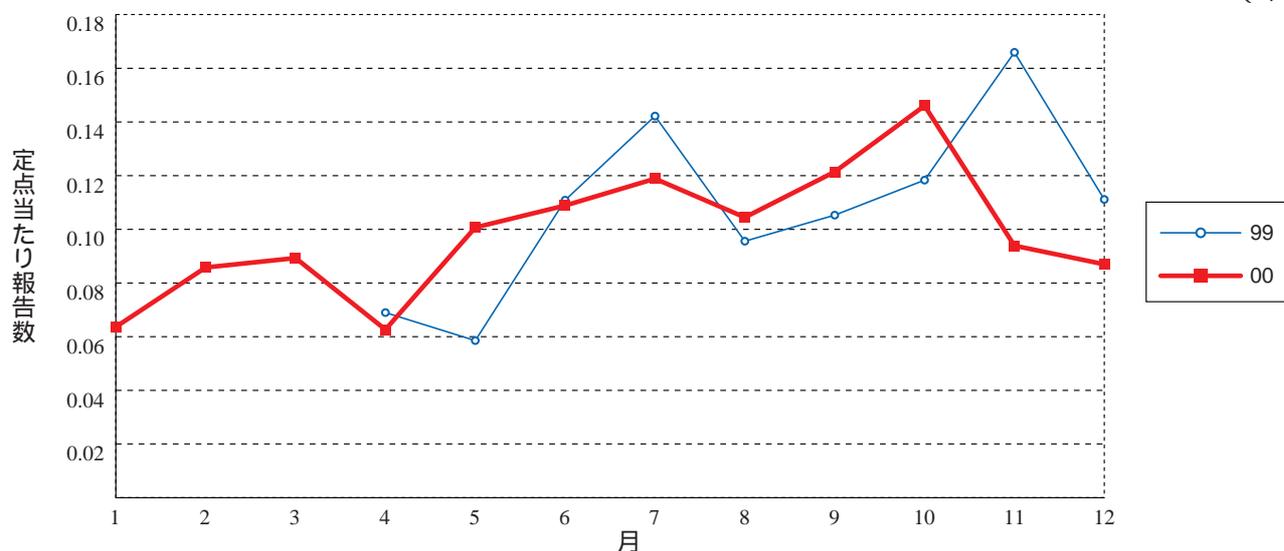
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





## 12月のデータ

注)表中の報告数は1月10日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成12年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2747	3.12	704	0.80	312	0.35	1360	1.54	1338	3.06	434	0.99	38	0.09
北海道	186	4.13	35	0.78	15	0.33	64	1.42	30	1.30	8	0.35	1	0.04
青森県	33	2.36	8	0.57	5	0.36	5	0.36	16	2.67	-	-	-	-
岩手県	63	4.85	9	0.69	4	0.31	13	1.00	41	2.05	8	0.40	5	0.25
宮城県	75	4.17	19	1.06	11	0.61	25	1.39	57	4.75	22	1.83	2	0.17
秋田県	18	1.64	2	0.18	3	0.27	1	0.09	18	2.57	14	2.00	1	0.14
山形県	23	2.30	1	0.10	1	0.10	2	0.20	37	4.11	13	1.44	3	0.33
福島県	28	1.75	4	0.25	5	0.31	21	1.31	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	53	2.52	11	0.52	11	0.52	31	1.48	17	1.55	-	-	1	0.09
栃木県	52	3.47	3	0.20	7	0.47	43	2.87	16	2.29	3	0.43	-	-
群馬県	155	6.20	18	0.72	7	0.28	40	1.60	32	3.20	12	1.20	3	0.30
埼玉県	206	4.20	21	0.43	16	0.33	53	1.08	23	2.56	-	-	3	0.33
千葉県	74	1.90	23	0.59	10	0.26	23	0.59	20	2.22	90	10.00	-	-
東京都	202	5.32	92	2.42	46	1.21	87	2.29	71	3.55	26	1.30	-	-
神奈川県	132	2.20	45	0.75	13	0.22	66	1.10	33	3.00	17	1.55	-	-
新潟県	30	1.58	5	0.26	3	0.16	31	1.63	51	4.25	2	0.17	1	0.08
富山県	24	3.43	1	0.14	3	0.43	7	1.00	30	6.00	19	3.80	-	-
石川県	16	1.60	5	0.50	-	-	8	0.80	12	2.40	1	0.20	-	-
福井県	7	1.75	2	0.50	-	-	4	1.00	25	4.17	11	1.83	-	-
山梨県	10	1.67	1	0.17	-	-	5	0.83	20	2.00	20	2.00	2	0.20
長野県	41	2.73	10	0.67	1	0.07	10	0.67	23	2.09	13	1.18	-	-
岐阜県	15	1.00	10	0.67	1	0.07	19	1.27	15	3.00	1	0.20	-	-
静岡県	77	2.57	13	0.43	5	0.17	15	0.50	54	5.40	5	0.50	-	-
愛知県	172	3.44	41	0.82	23	0.46	137	2.74	53	4.08	-	-	-	-
三重県	22	1.47	6	0.40	5	0.33	7	0.47	60	6.67	-	-	-	-
滋賀県	12	1.33	3	0.33	3	0.33	9	1.00	29	4.14	2	0.29	-	-
京都府	45	1.96	17	0.74	4	0.17	8	0.35	4	0.67	-	-	-	-
大阪府	308	5.31	129	2.22	48	0.83	258	4.45	24	2.67	3	0.33	-	-
兵庫県	73	1.59	22	0.48	8	0.17	36	0.78	52	4.00	15	1.15	-	-
奈良県	17	1.89	6	0.67	-	-	9	1.00	13	2.17	12	2.00	1	0.17
和歌山県	2	0.25	7	0.88	2	0.25	9	1.13	22	2.20	1	0.10	1	0.10
鳥取県	15	3.00	-	-	-	-	1	0.20	10	2.00	2	0.40	-	-
島根県	6	1.00	3	0.50	1	0.17	7	1.17	43	5.38	17	2.13	1	0.13
岡山県	63	3.71	8	0.47	4	0.24	28	1.65	4	0.80	-	-	-	-
広島県	43	2.53	12	0.71	5	0.29	9	0.53	49	3.50	16	1.14	9	0.64
山口県	22	1.83	3	0.25	3	0.25	12	1.00	48	6.86	29	4.14	2	0.29
徳島県	4	0.67	3	0.50	1	0.17	1	0.17	8	1.14	-	-	-	-
香川県	22	2.44	3	0.33	4	0.44	20	2.22	41	8.20	1	0.20	-	-
愛媛県	21	1.91	4	0.36	3	0.27	21	1.91	-	-	-	-	-	-
高知県	10	1.67	2	0.33	-	-	10	1.67	60	8.57	31	4.43	-	-
福岡県	101	6.73	27	1.80	7	0.47	86	5.73	2	0.33	-	-	-	-
佐賀県	23	3.29	2	0.29	1	0.14	16	2.29	18	3.00	3	0.50	1	0.17
長崎県	-	-	2	0.20	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-
熊本県	97	6.93	18	1.29	4	0.29	29	2.07	48	3.20	2	0.13	1	0.07
大分県	10	1.00	17	1.70	-	-	10	1.00	34	3.40	4	0.40	-	-
宮崎県	56	5.09	13	1.18	4	0.36	14	1.27	29	4.14	-	-	-	-
鹿児島県	44	2.75	16	1.00	10	0.63	38	2.38	9	0.75	-	-	-	-
沖縄県	39	3.55	2	0.18	5	0.45	11	1.00	32	4.57	11	1.57	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1167	1.32	302	0.34	163	0.19	1130	1.28	864	1.98	255	0.58	23	0.05
北海道	28	0.62	3	0.07	5	0.11	38	0.84	19	0.83	4	0.17	1	0.04
青森県	19	1.36	4	0.29	1	0.07	4	0.29	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	1	0.08	2	0.15	11	0.85	25	1.25	5	0.25	3	0.15
宮城県	25	1.39	7	0.39	2	0.11	20	1.11	40	3.33	14	1.17	2	0.17
秋田県	5	0.45	1	0.09	-	-	1	0.09	9	1.29	12	1.71	-	-
山形県	9	0.90	-	-	1	0.10	2	0.20	22	2.44	8	0.89	2	0.22
福島県	11	0.69	1	0.06	3	0.19	18	1.13	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	31	1.48	5	0.24	7	0.33	29	1.38	10	0.91	-	-	1	0.09
栃木県	27	1.80	2	0.13	5	0.33	39	2.60	8	1.14	1	0.14	-	-
群馬県	79	3.16	11	0.44	3	0.12	34	1.36	24	2.40	8	0.80	1	0.10
埼玉県	54	1.10	8	0.16	13	0.27	39	0.80	13	1.44	-	-	1	0.11
千葉県	36	0.92	13	0.33	5	0.13	21	0.54	13	1.44	44	4.89	-	-
東京都	106	2.79	40	1.05	26	0.68	74	1.95	46	2.30	19	0.95	-	-
神奈川県	88	1.47	29	0.48	6	0.10	65	1.08	25	2.27	12	1.09	-	-
新潟県	18	0.95	3	0.16	1	0.05	30	1.58	37	3.08	2	0.17	1	0.08
富山県	8	1.14	1	0.14	-	-	7	1.00	15	3.00	10	2.00	-	-
石川県	2	0.20	4	0.40	-	-	8	0.80	6	1.20	1	0.20	-	-
福井県	2	0.50	2	0.50	-	-	4	1.00	15	2.50	7	1.17	-	-
山梨県	2	0.33	-	-	-	-	4	0.67	9	0.90	16	1.60	2	0.20
長野県	10	0.67	4	0.27	1	0.07	4	0.27	15	1.36	7	0.64	-	-
岐阜県	8	0.53	5	0.33	-	-	16	1.07	11	2.20	-	-	-	-
静岡県	13	0.43	2	0.07	4	0.13	13	0.43	39	3.90	4	0.40	-	-
愛知県	117	2.34	29	0.58	19	0.38	129	2.58	32	2.46	-	-	-	-
三重県	9	0.60	5	0.33	3	0.20	7	0.47	42	4.67	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	-	-	-	-	8	0.89	17	2.43	1	0.14	-	-
京都府	8	0.35	1	0.04	1	0.04	3	0.13	3	0.50	-	-	-	-
大阪府	150	2.59	53	0.91	31	0.53	185	3.19	15	1.67	3	0.33	-	-
兵庫県	47	1.02	9	0.20	5	0.11	34	0.74	32	2.46	8	0.62	-	-
奈良県	11	1.22	5	0.56	-	-	9	1.00	11	1.83	4	0.67	1	0.17
和歌山県	2	0.25	3	0.38	1	0.13	8	1.00	11	1.10	1	0.10	1	0.10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	0.20	5	1.00	1	0.20	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	7	1.17	27	3.38	10	1.25	1	0.13
岡山県	17	1.00	1	0.06	1	0.06	26	1.53	4	0.80	-	-	-	-
広島県	3	0.18	4	0.24	-	-	4	0.24	34	2.43	7	0.50	5	0.36
山口県	7	0.58	1	0.08	2	0.17	10	0.83	27	3.86	17	2.43	-	-
徳島県	4	0.67	3	0.50	1	0.17	1	0.17	6	0.86	-	-	-	-
香川県	8	0.89	3	0.33	2	0.22	19	2.11	23	4.60	1	0.20	-	-
愛媛県	7	0.64	3	0.27	2	0.18	21	1.91	-	-	-	-	-	-
高知県	7	1.17	-	-	-	-	6	1.00	44	6.29	18	2.57	-	-
福岡県	57	3.80	10	0.67	2	0.13	72	4.80	2	0.33	-	-	-	-
佐賀県	9	1.29	-	-	1	0.14	14	2.00	16	2.67	3	0.50	-	-
長崎県	-	-	2	0.20	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-
熊本県	25	1.79	4	0.29	2	0.14	21	1.50	34	2.27	1	0.07	1	0.07
大分県	8	0.80	8	0.80	-	-	10	1.00	22	2.20	3	0.30	-	-
宮崎県	26	2.36	2	0.18	-	-	14	1.27	18	2.57	-	-	-	-
鹿児島県	24	1.50	8	0.50	4	0.25	33	2.06	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	9	0.82	1	0.09	1	0.09	6	0.55	16	2.29	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1580	1.79	402	0.46	149	0.17	230	0.26	474	1.08	179	0.41	15	0.03
北海道	158	3.51	32	0.71	10	0.22	26	0.58	11	0.48	4	0.17	-	-
青森県	14	1.00	4	0.29	4	0.29	1	0.07	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	41	3.15	8	0.62	2	0.15	2	0.15	16	0.80	3	0.15	2	0.10
宮城県	50	2.78	12	0.67	9	0.50	5	0.28	17	1.42	8	0.67	-	-
秋田県	13	1.18	1	0.09	3	0.27	-	-	9	1.29	2	0.29	1	0.14
山形県	14	1.40	1	0.10	-	-	-	-	15	1.67	5	0.56	1	0.11
福島県	17	1.06	3	0.19	2	0.13	3	0.19	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	22	1.05	6	0.29	4	0.19	2	0.10	7	0.64	-	-	-	-
栃木県	25	1.67	1	0.07	2	0.13	4	0.27	8	1.14	2	0.29	-	-
群馬県	76	3.04	7	0.28	4	0.16	6	0.24	8	0.80	4	0.40	2	0.20
埼玉県	152	3.10	13	0.27	3	0.06	14	0.29	10	1.11	-	-	2	0.22
千葉県	38	0.97	10	0.26	5	0.13	2	0.05	7	0.78	46	5.11	-	-
東京都	96	2.53	52	1.37	20	0.53	13	0.34	25	1.25	7	0.35	-	-
神奈川県	44	0.73	16	0.27	7	0.12	1	0.02	8	0.73	5	0.45	-	-
新潟県	12	0.63	2	0.11	2	0.11	1	0.05	14	1.17	-	-	-	-
富山県	16	2.29	-	-	3	0.43	-	-	15	3.00	9	1.80	-	-
石川県	14	1.40	1	0.10	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-
福井県	5	1.25	-	-	-	-	-	-	10	1.67	4	0.67	-	-
山梨県	8	1.33	1	0.17	-	-	1	0.17	11	1.10	4	0.40	-	-
長野県	31	2.07	6	0.40	-	-	6	0.40	8	0.73	6	0.55	-	-
岐阜県	7	0.47	5	0.33	1	0.07	3	0.20	4	0.80	1	0.20	-	-
静岡県	64	2.13	11	0.37	1	0.03	2	0.07	15	1.50	1	0.10	-	-
愛知県	55	1.10	12	0.24	4	0.08	8	0.16	21	1.62	-	-	-	-
三重県	13	0.87	1	0.07	2	0.13	-	-	18	2.00	-	-	-	-
滋賀県	8	0.89	3	0.33	3	0.33	1	0.11	12	1.71	1	0.14	-	-
京都府	37	1.61	16	0.70	3	0.13	5	0.22	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	158	2.72	76	1.31	17	0.29	73	1.26	9	1.00	-	-	-	-
兵庫県	26	0.57	13	0.28	3	0.07	2	0.04	20	1.54	7	0.54	-	-
奈良県	6	0.67	1	0.11	-	-	-	-	2	0.33	8	1.33	-	-
和歌山県	-	-	4	0.50	1	0.13	1	0.13	11	1.10	-	-	-	-
鳥取県	15	3.00	-	-	-	-	-	-	5	1.00	1	0.20	-	-
島根県	1	0.17	2	0.33	1	0.17	-	-	16	2.00	7	0.88	-	-
岡山県	46	2.71	7	0.41	3	0.18	2	0.12	-	-	-	-	-	-
広島県	40	2.35	8	0.47	5	0.29	5	0.29	15	1.07	9	0.64	4	0.29
山口県	15	1.25	2	0.17	1	0.08	2	0.17	21	3.00	12	1.71	2	0.29
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-
香川県	14	1.56	-	-	2	0.22	1	0.11	18	3.60	-	-	-	-
愛媛県	14	1.27	1	0.09	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.50	2	0.33	-	-	4	0.67	16	2.29	13	1.86	-	-
福岡県	44	2.93	17	1.13	5	0.33	14	0.93	-	-	-	-	-	-
佐賀県	14	2.00	2	0.29	-	-	2	0.29	2	0.33	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	72	5.14	14	1.00	2	0.14	8	0.57	14	0.93	1	0.07	-	-
大分県	2	0.20	9	0.90	-	-	-	-	12	1.20	1	0.10	-	-
宮崎県	30	2.73	11	1.00	4	0.36	-	-	11	1.57	-	-	-	-
鹿児島県	20	1.25	8	0.50	6	0.38	5	0.31	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	30	2.73	1	0.09	4	0.36	5	0.45	16	2.29	8	1.14	-	-

注 )1月17日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成12年12月

	結核
	報告数
総数	3167
北海道	111
青森県	24
岩手県	20
宮城県	48
秋田県	20
山形県	17
福島県	44
茨城県	48
栃木県	39
群馬県	23
埼玉県	146
千葉県	124
東京都	387
神奈川県	177
新潟県	40
富山県	22
石川県	18
福井県	22
山梨県	12
長野県	26
岐阜県	64
静岡県	71
愛知県	161
三重県	54
滋賀県	28
京都府	57
大阪府	415
兵庫県	175
奈良県	30
和歌山県	48
鳥取県	11
島根県	15
岡山県	45
広島県	68
山口県	44
徳島県	22
香川県	31
愛媛県	27
高知県	19
福岡県	137
佐賀県	18
長崎県	45
熊本県	40
大分県	41
宮崎県	35
鹿児島県	59
沖縄県	39



## 2週 of データ

注)表中の報告数は1月19日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年2週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	22	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年2週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	-	10	20	6	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	4	5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年2週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1	6	13	-	-	2	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	5	9	-	-	2	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年2週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	6	11	1	1	-	-	-	-	-	-	3	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年2週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年2週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1868	0.41	278	0.09	2568	0.85	24987	8.28	9459	3.14	554	0.18	1092	0.36	2321	0.77	36	0.01
北海道	53	0.23	10	0.07	94	0.65	228	1.57	442	3.05	5	0.03	35	0.24	73	0.50	1	0.01
青森県	11	0.17	3	0.07	22	0.54	102	2.49	145	3.54	19	0.46	3	0.07	18	0.44	1	0.02
岩手県	21	0.34	-	-	24	0.63	163	4.29	104	2.74	1	0.03	42	1.11	19	0.50	-	-
宮城県	9	0.09	11	0.19	65	1.10	695	11.78	259	4.39	18	0.31	50	0.85	68	1.15	-	-
秋田県	17	0.31	1	0.03	23	0.66	237	6.77	134	3.83	2	0.06	2	0.06	23	0.66	-	-
山形県	7	0.15	1	0.03	38	1.27	235	7.83	121	4.03	1	0.03	35	1.17	27	0.90	1	0.03
福島県	10	0.14	-	-	23	0.48	260	5.42	115	2.40	4	0.08	11	0.23	38	0.79	1	0.02
茨城県	54	0.46	2	0.03	62	0.85	486	6.66	224	3.07	8	0.11	2	0.03	38	0.52	1	0.01
栃木県	18	0.26	4	0.09	64	1.39	335	7.28	131	2.85	-	-	22	0.48	45	0.98	-	-
群馬県	27	0.27	3	0.05	74	1.19	436	7.03	227	3.66	3	0.05	8	0.13	36	0.58	-	-
埼玉県	136	0.53	8	0.05	169	1.06	1723	10.84	530	3.33	18	0.11	123	0.77	119	0.75	2	0.01
千葉県	79	0.39	14	0.11	119	0.90	1439	10.90	352	2.67	37	0.28	113	0.86	101	0.77	2	0.02
東京都	51	0.29	9	0.06	48	0.34	893	6.29	209	1.47	12	0.08	78	0.55	63	0.44	-	-
神奈川県	120	0.37	17	0.08	102	0.50	1491	7.27	588	2.87	29	0.14	95	0.46	181	0.88	2	0.01
新潟県	51	0.52	16	0.27	125	2.08	437	7.28	329	5.48	7	0.12	12	0.20	51	0.85	4	0.07
富山県	21	0.44	-	-	51	1.76	189	6.52	119	4.10	17	0.59	1	0.03	20	0.69	-	-
石川県	9	0.19	7	0.24	56	1.93	372	12.83	76	2.62	6	0.21	7	0.24	17	0.59	-	-
福井県	1	0.04	6	0.27	23	1.05	288	13.09	99	4.50	11	0.50	17	0.77	17	0.77	-	-
山梨県	19	0.46	2	0.08	14	0.56	170	6.80	38	1.52	5	0.20	8	0.32	7	0.28	-	-
長野県	74	0.86	11	0.20	44	0.81	580	10.74	330	6.11	6	0.11	7	0.13	34	0.63	-	-
岐阜県	51	0.69	9	0.19	48	1.02	188	4.00	141	3.00	14	0.30	11	0.23	30	0.64	-	-
静岡県	61	0.45	18	0.21	55	0.64	855	9.94	312	3.63	8	0.09	27	0.31	74	0.86	-	-
愛知県	80	0.42	12	0.07	158	0.87	1236	6.79	610	3.35	53	0.29	77	0.42	130	0.71	3	0.02
三重県	18	0.33	3	0.08	44	1.19	616	16.65	164	4.43	6	0.16	9	0.24	53	1.43	-	-
滋賀県	17	0.35	2	0.06	36	1.13	170	5.31	75	2.34	2	0.06	5	0.16	10	0.31	-	-
京都府	62	0.49	2	0.03	48	0.63	540	7.11	137	1.80	6	0.08	15	0.20	46	0.61	-	-
大阪府	141	0.48	6	0.03	77	0.40	1005	5.21	423	2.19	11	0.06	34	0.18	119	0.62	1	0.01
兵庫県	87	0.44	5	0.04	91	0.72	1015	7.99	382	3.01	19	0.15	17	0.13	118	0.93	1	0.01
奈良県	25	0.45	1	0.03	13	0.37	294	8.40	144	4.11	3	0.09	1	0.03	22	0.63	1	0.03
和歌山県	35	0.73	-	-	10	0.32	280	9.03	95	3.06	3	0.10	-	-	20	0.65	-	-
鳥取県	7	0.24	10	0.53	70	3.68	172	9.05	81	4.26	3	0.16	-	-	25	1.32	-	-
島根県	12	0.32	9	0.39	6	0.26	177	7.70	72	3.13	4	0.17	-	-	21	0.91	1	0.04
岡山県	19	0.23	19	0.35	41	0.76	424	7.85	186	3.44	5	0.09	6	0.11	62	1.15	2	0.04
広島県	45	0.40	3	0.04	66	0.88	748	9.97	191	2.55	3	0.04	11	0.15	44	0.59	1	0.01
山口県	12	0.17	13	0.27	57	1.16	623	12.71	181	3.69	20	0.41	16	0.33	52	1.06	1	0.02
徳島県	16	0.42	-	-	22	0.96	333	14.48	36	1.57	3	0.13	5	0.22	22	0.96	-	-
香川県	36	0.71	1	0.03	17	0.53	399	12.47	38	1.19	6	0.19	6	0.19	28	0.88	1	0.03
愛媛県	16	0.25	5	0.13	47	1.21	673	17.26	149	3.82	1	0.03	3	0.08	34	0.87	-	-
高知県	7	0.14	-	-	40	1.29	264	8.52	80	2.58	1	0.03	3	0.10	10	0.32	-	-
福岡県	83	0.51	7	0.07	143	1.36	1170	11.14	426	4.06	45	0.43	91	0.87	132	1.26	2	0.02
佐賀県	10	0.26	-	-	14	0.61	262	11.39	73	3.17	10	0.43	12	0.52	45	1.96	-	-
長崎県	20	0.30	-	-	16	0.33	212	4.42	128	2.67	16	0.33	6	0.13	27	0.56	1	0.02
熊本県	13	0.16	11	0.22	46	0.94	454	9.27	167	3.41	29	0.59	33	0.67	60	1.22	2	0.04
大分県	9	0.16	1	0.03	42	1.20	541	15.46	116	3.31	1	0.03	3	0.09	49	1.40	2	0.06
宮崎県	14	0.23	14	0.38	69	1.86	803	21.70	201	5.43	20	0.54	26	0.70	41	1.11	-	-
鹿児島県	150	1.53	2	0.03	41	0.68	718	11.97	149	2.48	6	0.10	4	0.07	46	0.77	2	0.03
沖縄県	34	0.59	-	-	11	0.32	56	1.65	130	3.82	47	1.38	-	-	6	0.18	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年2週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	87	0.03	542	0.18	5594	1.85	31	0.05	829	1.31	1	0.00	4	0.01	18	0.04
北海道	-	-	2	0.01	45	0.31	329	2.27	-	-	33	1.14	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	5	0.12	65	1.59	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.05	11	0.29	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	1	0.02	15	0.25	17	0.29	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	3	0.09	18	0.51	2	0.29	3	0.43	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	44	1.47	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	17	0.35	22	0.46	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	8	0.11	85	1.16	-	-	71	4.44	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	-	-	22	0.48	-	-	18	1.50	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	1	0.02	1	0.02	76	1.23	-	-	33	2.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	5	0.03	4	0.03	15	0.09	581	3.65	6	0.17	50	1.43	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	2	0.02	13	0.10	362	2.74	3	0.09	52	1.53	-	-	1	0.08	-	-
東京都	2	0.01	6	0.04	6	0.04	178	1.25	-	-	20	1.43	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	3	0.01	1	0.00	47	0.23	509	2.48	2	0.05	64	1.52	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	4	0.07	230	3.83	-	-	17	1.89	-	-	-	-	4	0.33
富山県	-	-	-	-	3	0.10	6	0.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	22	0.76	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	-	-	-	-	134	6.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	2	0.08	10	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	4	0.07	71	1.31	2	0.20	18	1.80	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	2	0.04	88	1.87	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	1	0.01	250	2.91	-	-	22	1.10	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	4	0.02	6	0.03	7	0.04	325	1.79	-	-	30	0.86	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.03	2	0.05	102	2.76	-	-	6	0.60	-	-	-	-	2	0.25
滋賀県	-	-	-	-	-	-	44	1.38	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	2	0.03	96	1.26	-	-	13	0.72	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	21	0.11	21	0.11	347	1.80	1	0.02	26	0.50	-	-	-	-	-	-
兵庫県	5	0.04	3	0.02	4	0.03	170	1.34	4	0.11	25	0.71	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	2	0.06	26	0.74	54	1.54	-	-	10	1.11	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	2	0.06	3	0.10	17	0.55	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	-	-	25	1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	1	0.04	-	-	2	0.09	40	1.74	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	3	0.06	4	0.07	42	0.78	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	3	0.04	11	0.15	71	0.95	1	0.05	22	1.10	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.02	11	0.22	160	3.27	2	0.22	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	22	0.96	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	80	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	1	0.03	34	0.87	-	-	21	3.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	67	2.16	58	1.87	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	2	0.02	86	0.82	321	3.06	-	-	58	2.42	-	-	2	0.13	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	56	2.43	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	43	0.90	4	0.40	28	2.80	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	4	0.08	10	0.20	216	4.41	-	-	14	1.56	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	3	0.09	51	1.46	52	1.49	-	-	9	1.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	1	0.03	19	0.51	-	-	21	5.25	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	2	0.03	-	-	34	0.57	35	0.58	1	0.17	20	3.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	6	0.18	35	1.03	-	-	19	1.90	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年2週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	66	0.14	1	0.00	5	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	6	0.30	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.14	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.27	-	-	-	-
新潟県	3	0.25	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	3	0.50	-	-	-	-
和歌山県	2	0.18	-	-	1	0.09
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	2	0.25
福岡県	4	0.27	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	4	0.57	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	1	0.14

感染症週報 第3巻、第2号 平成13年1月26日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。